

09/821,248



日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
in this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 4月11日

願 番 号

Application Number:

特願2000-109975

願 人

Applicant(s):

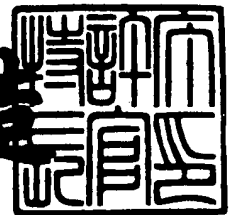
株式会社リコー

**CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT**

2001年 4月 6日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3027214

【書類名】 特許願

【整理番号】 0003260

【提出日】 平成12年 4月11日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 5/225

【発明の名称】 画像入力装置、デジタルカメラ、携帯情報入力装置、情報処理装置、および画像入力システム

【請求項の数】 20

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内

【氏名】 関 和之

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内

【氏名】 鈴木 啓一

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内

【氏名】 興石 隆保

【特許出願人】

【識別番号】 000006747

【氏名又は名称】 株式会社リコー

【代理人】

【識別番号】 100089118

【弁理士】

【氏名又は名称】 酒井 宏明

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願日】 平成12年 3月31日提出の特許願

【整理番号】 0002642

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 036711

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9808514

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像入力装置、デジタルカメラ、携帯情報入力装置、情報処理装置、および画像入力システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像入力装置に操作指示を与えるための、当該画像入力装置の機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを作成する撮影リスト作成手段と、

前記撮影リスト作成手段で作成された撮影リストを前記画像入力装置に転送するための通信手段と、

を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】 前記撮影リスト作成手段は、接続される画像入力装置から前記機種名情報を読み出すことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】 前記撮影リスト作成手段は、接続される画像入力装置に格納されている記録ファイルのヘッダーから前記機種名情報を読み出すことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】 さらに、前記画像入力装置の機種毎の機種能力情報が登録されたテーブルを備え、

前記撮影リスト作成手段は、前記テーブルを使用して前記機種に応じた撮影リストを作成することを特徴とする請求項 1 ～請求項 3 のいずれか 1 つに記載の情報処理装置。

【請求項 5】 被写体像を結像するための光学系と、

結像された被写体像を画像データに変換する撮像手段と、

情報処理装置から転送されてくる、機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを受信する受信手段と、

前記受信手段で受信した撮影リストを記憶する記憶手段と、

前記撮影リストの機種名情報を読み出して、自機の機種名と前記撮影リストの機種名とが一致するか否かを判断する判断手段と、

を備え、

前記判断手段により自機の機種名と前記撮影リストの機種名とが一致すると判

断された場合に、当該撮影リストに基づいて撮影を行うことを特徴とする画像入力装置。

【請求項6】 請求項1～請求項4のいずれか1つに記載の情報処理装置と、前記請求項5に記載された画像入力装置とで構築されることを特徴とする画像入力システム。

【請求項7】 複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、
前記入力画面のセルにカット名を入力する入力手段と、
前記カット名が入力されたセル位置の1または複数を指定する指定手段と、
前記指定手段で指定されたセル位置のカット名を含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、
前記撮影リストファイルを外部の画像入力装置に転送するための転送手段と、
を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項8】 複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、
前記入力画面のセルにカット名および当該カット名に対応する撮影指示項目を入力する入力手段と、
前記カット名が入力されたセル位置の1または複数を指定する指定手段と、
前記指定手段で指定されたセル位置のカット名および当該カット名に対応する撮影指示項目を含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、
前記撮影リストファイルを外部の画像入力装置に転送するための転送手段と、
を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項9】 複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、
前記入力画面のセルにカット名を入力する入力手段と、
前記入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更するセルサイズ変更手段と、
前記カット名が入力されたセル位置の1または複数を指定する第1の指定手段

と、

カット名毎に画像を貼り付けるべきセル位置を指定する第 2 の指定手段と、

前記第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と前記第 2 の指定手段で指定されたセルのセルサイズを含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、

前記撮影リストファイルを外部の画像入力装置に転送するための転送手段と、
を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 0】 複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、

前記入力画面のセルにカット名を入力する入力手段と、

前記入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更するセルサイズ変更手段と、

前記セルに画像を貼り付ける画像貼り付け手段と、

前記カット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定する第 1 の指定手段と、

カット名毎に画像が貼り付けられたセルのセル位置を指定する第 2 の指定手段と、

前記第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と前記第 2 の指定手段で指定されたセルに貼り付けられた画像の画像サイズを含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、

前記撮影リストファイルを外部の画像入力装置に転送するための転送手段と、
を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 1】 複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、

前記入力画面のセルにカット名を入力する入力手段と、

前記入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更するセルサイズ変更手段と、

前記セルに画像を貼り付ける画像貼り付け手段と、

前記カット名が入力されたセルのセル位置の 1 または複数を指定する第 1 の指

定手段と、

カット名毎に画像が貼り付けられたセルのセル位置を指定する第 2 の指定手段と、

前記第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と前記第 2 の指定手段で指定されたセル位置のセルに貼り付けられた画像の画像サイズを含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、

前記撮影リストファイルを外部の画像入力装置に転送するための転送手段と、
を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 2】 請求項 7 ～請求項 1 1 のいずれか 1 つに記載の情報処理装置と、当該情報処理装置から転送されてくる撮影リストファイルを受信して、当該撮影リストファイルに従って撮影した画像を前記情報処理装置に転送する画像入力装置とで構築されることを特徴とする画像入力システム。

【請求項 1 3】 被写体像を結像するための光学系と、
結像された被写体像を画像データに変換する撮像手段と、
外部とデータ通信するための通信手段と、
前記通信手段で E メールを受信した場合に、E メール内に撮影リストが含まれているか否かを判断する第 1 の判断手段と、

前記第 1 の判断手段により E メール内に撮影リストが含まれている判断された場合に、当該撮影リストが自機の機種に応じた撮影リストであるか否かを判断する第 2 の判断手段と、

を備え、

前記第 2 の判断手段により自機の機種に応じた撮影リストであると判断した場合に、当該撮影リストに基づいて撮影を行うことを特徴とする画像入力装置。

【請求項 1 4】 被写体像を結像するための光学系と、
結像された被写体像を画像データに変換する撮像手段と、
Web サーバーのホームページをブラウジングして、自機の機種に応じた撮影リストがある場合に当該撮影リストをダウンロードする Web ブラウジング手段と、

前記ダウンロードされた撮影リストを記録する記録手段と、

を備え、

前記ダウンロードされた撮影リストに基づいて撮影を行うことを特徴とする画像入力装置。

【請求項 1 5】 被写体像を結像するための光学系と、

結像された被写体像を画像データに変換する撮像手段と、

Web サーバーのホームページ上の撮影リストをブラウジングする Web ブラウジング手段と、

を備え、

前記ホームページ上の撮影リストに基づいて撮影を行うことを特徴とする画像入力装置。

【請求項 1 6】 前記撮影リストに基づいて撮影した画像を前記ホームページにアップロードすることを特徴とする請求項 1 4 または請求項 1 5 に記載の画像入力装置。

【請求項 1 7】 少なくとも、記録すべき被記録対象の 1 または複数のカット名を含む撮影リストを作成して画像入力装置に送出する撮影リスト作成・送出手段と、

前記画像入力装置で前記撮影リストに従って撮影した画像を当該撮影リストとともに受信するための受信手段と、

複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、

前記撮影リストのカット名をセルに表示すると共に、前記カット名に対応させて撮影した画像を貼り付けるべきセルのサイズを読み出し、読み出したセルのサイズに撮影した画像のサイズを変換し、前記撮影した画像を貼り付けるべきセルに貼り付ける貼り付け手段と、

を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 8】 前記貼り付け手段は、前記画像が貼り付けられたセルのサイズが変更された場合には、変更されたセルのサイズに画像を変換することを特徴とする請求項 1 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 1 9】 請求項 5 および請求項 1 3 ～請求項 1 6 のいずれか 1 つに記載の画像入力装置を適用したことを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 2 0】 請求項 5 および請求項 1 3 ～請求項 1 6 のいずれか 1 つに記載の画像入力装置を適用したことを特徴とする携帯情報入力装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像入力装置、デジタルカメラ、携帯情報入力装置、情報処理装置、および画像入力システムに関し、詳細には、撮影リストを使用する画像入力装置、デジタルカメラ、携帯情報入力装置、情報処理装置、および画像入力システムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

デジタルカメラの原型は、電子スチルカメラであり、実用的には 1 9 8 1 年頃発売されたソニーのマビカから始まっている。その後、撮像デバイス C C D の高詳細化・低価格化、記録媒体カードメモリの大容量化・小型化、および静止画像圧縮符号方式である J P E G の半導体チップの出現などに伴い、現在のデジタルカメラは、小型化・低価格・高性能化が進んできている。

【 0 0 0 3 】

また、携帯電話の急激な普及やノートパーソナルコンピュータの小型化、シャープのザウルスに代表される P D A の普及によって、移動中に機器を使用する環境が整ってきた中で、画像入力手段として普及してきたデジタルカメラが、パソコンやネットワークに結合し、画像だけでなく、音声・動画などのあらゆるイメージ情報のキャプチャとして、マルチメディアシステムの重要な要素になってきている。

【 0 0 0 4 】

また、デジタルカメラは、上述のキャプチャのみならず、近時研究が活発化してきている身につけるコンピュータ（ウェアラブル・コンピュータ）の候補としても、携帯電話・P D A ・パットフォームパーソナルコンピュータとともに期待されている。さらに、デジタルカメラは、インターネットとの接続機能、個人情報管理機能や、プレゼン機能等のより高機能なものへの対応が望まれている。

【 0 0 0 5 】

例えば、特開平 1 0 - 3 4 1 3 9 6 号公報の「デジタルカメラの機能的付加方法」では、外部記録媒体に記録されているプログラムを受け取りデジタルカメラの記憶媒体に記録する第 1 のプロセスと、所望の時期に前記プログラムを前記カメラの記録媒体から読み出して実行する第 2 のプロセスとを有することにより、所望する機能を追加するために、外部からプログラムを導入可能とした技術が開示されている。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記特開平 1 0 - 3 4 1 3 9 6 号公報の「デジタルカメラの機能的付加方法」では、必要な被写体の取り忘れや作業漏れを防止できないという問題がある。

【 0 0 0 7 】

本発明は、上記に鑑みてなされたものであり、必要な被写体の取り忘れや作業漏れを防止可能な画像入力装置、デジタルカメラ、携帯情報入力装置、情報処理装置、および画像入力システムを提供することを目的とする。

【 0 0 0 8 】

【課題を解決するための手段】

上記課題を達成するために、請求項 1 にかかる発明は、画像入力装置に操作指示を与えるための、当該画像入力装置の機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを作成する撮影リスト作成手段と、前記撮影リスト作成手段で作成された撮影リストを前記画像入力装置に転送するための通信手段と、を備えたものである。

【 0 0 0 9 】

上記発明によれば、撮影リスト作成手段は画像入力装置に操作指示を与えるための、当該画像入力装置の機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを作成し、通信手段は撮影リスト作成手段で作成された撮影リストを画像入力装置に転送する。

【 0 0 1 0 】

また、請求項 2 にかかる発明は、請求項 1 にかかる発明において、前記撮影リスト作成手段は、接続される画像入力装置から前記機種名情報を読み出すものである。上記発明によれば、請求項 1 にかかる発明において、撮影リスト作成手段は接続される画像入力装置から機種名情報を読み出す。

【 0 0 1 1 】

また、請求項 3 にかかる発明は、請求項 1 にかかる発明において、前記撮影リスト作成手段は、接続される画像入力装置に格納されている記録ファイルのヘッダーから前記機種名情報を読み出すものである。上記発明によれば、請求項 1 にかかる発明において、撮影リスト作成手段は、接続される画像入力装置に格納されている記録ファイルのヘッダーから機種名情報を読み出す。

【 0 0 1 2 】

また、請求項 4 にかかる発明は、請求項 1 ～請求項 3 のいずれか 1 つにかかる発明において、前記画像入力装置の機種毎の機種能力情報が登録されたテーブルを備え、前記撮影リスト作成手段は、前記テーブルを使用して前記機種に応じた撮影リストを作成するものである。上記発明によれば、請求項 1 ～請求項 3 のいずれか 1 つにかかる発明において、撮影リスト作成手段は、画像入力装置の機種毎の機種能力情報が登録されたテーブルを使用して、機種に応じた撮影リストを作成する。

【 0 0 1 3 】

また、請求項 5 にかかる発明は、被写体像を結像するための光学系と、結像された被写体像を画像データに変換する撮像手段と、情報処理装置から転送されてくる、機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを受信する受信手段と、前記受信手段で受信した撮影リストを記憶する記憶手段と、前記撮影リストの機種名情報を読み出して、自機の機種名と前記撮影リストの機種名とが一致するか否かを判断する判断手段と、を備え、前記判断手段により自機の機種名と前記撮影リストの機種名とが一致すると判断された場合に、当該撮影リストに基づいて撮影を行うものである。

【 0 0 1 4 】

上記発明によれば、光学系は被写体像を結像し、撮像手段は結像された被写体

像を画像データに変換し、受信手段は情報処理装置から転送されてくる、機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを受信し、記憶手段は受信手段で受信した撮影リストを記憶し、判断手段は撮影リストの機種名情報を読み出して、自機の機種名と前記撮影リストの機種名とが一致するか否かを判断し、判断手段により自機の機種名と前記撮影リストの機種名とが一致すると判断された場合に、当該撮影リストに基づいて撮影を行う。

【 0 0 1 5 】

また、請求項 6 にかかる発明は、請求項 1 ～請求項 4 のいずれか 1 つにかかる情報処理装置と、請求項 5 に記載された画像入力装置とで構築されることとした。上記発明によれば、請求項 1 ～請求項 4 のいずれか 1 つにかかる画像入力装置と、請求項 5 に記載された画像入力装置とで画像入力システムを構築する。

【 0 0 1 6 】

また、請求項 7 にかかる発明は、複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、前記入力画面のセルにカット名を入力する入力手段と、前記カット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定する指定手段と、前記指定手段で指定されたセル位置のカット名を含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、前記撮影リストファイルを画像入力装置に転送するための転送手段と、を備えたものである。

【 0 0 1 7 】

上記発明によれば、表示手段は複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示し、入力手段は入力画面のセルにカット名を入力し、指定手段はカット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定し、撮影リストファイル作成手段は指定手段で指定されたセル位置のカット名を含む撮影リストファイルを作成し、撮影リストファイルを画像入力装置に転送する。

【 0 0 1 8 】

また、請求項 8 にかかる発明は、複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、前記入力画面のセルにカット名および当該カット名に対応する撮影指示項目を入力する入力手段と、前記カット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定する指定手段と、前記指定手段で指定されたセル位置のカット名

および当該カット名に対応する撮影指示項目を含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、前記撮影リストファイルを画像入力装置に転送するための転送手段と、を備えたものである。

【 0 0 1 9 】

上記発明によれば、表示手段は複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示し、入力手段は入力画面のセルにカット名および当該カット名に対応する撮影指示項目を入力し、指定手段は記カット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定し、撮影リストファイル作成手段は指定手段で指定されたセル位置のカット名および当該カット名に対応する撮影指示項目を含む撮影リストファイルを作成し、転送手段は撮影リストファイルを画像入力装置に転送する。

【 0 0 2 0 】

また、請求項 9 にかかる発明は、複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、前記入力画面のセルにカット名を入力する入力手段と、前記入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更するセルサイズ変更手段と、前記カット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定する第 1 の指定手段と、カット名毎に画像を貼り付けるべきセル位置を指定する第 2 の指定手段と、前記第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と前記第 2 の指定手段で指定されたセルのセルサイズを含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、前記撮影リストファイルを画像入力装置に転送するための転送手段と、を備えたものである。

【 0 0 2 1 】

上記発明によれば、表示手段は複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示し、入力手段は入力画面のセルにカット名を入力し、セルサイズ変更手段は入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更し、第 1 の指定手段はカット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定し、第 2 の指定手段はカット名毎に画像を貼り付けるべきセル位置を指定し、撮影リスト作成手段は第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と記第 2 の指定手段で指定されたセルのセルサイズを含む撮影リストファイルを作成し、転送手段は撮影リストファイルを画像入力装置に転送する。

【 0 0 2 2 】

また、請求項 1 0 にかかる発明は、複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、前記入力画面のセルにカット名を入力する入力手段と、前記入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更するセルサイズ変更手段と、前記セルに画像を貼り付ける画像貼り付け手段と、前記カット名が入力されたセル位置の 1 または複数指定する第 1 の指定手段と、カット名毎に画像が貼り付けられたセルのセル位置を指定する第 2 の指定手段と、前記第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と前記第 2 の指定手段で指定されたセルに貼り付けられた画像の画像サイズを含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、前記撮影リストファイルを画像入力装置に転送するための転送手段と、を備えたものである。

【 0 0 2 3 】

上記発明によれば、表示手段は複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示し、入力手段は入力画面のセルにカット名を入力し、セルサイズ変更手段は入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更し、画像貼り付け手段はセルに画像を貼り付け、第 1 の指定手段はカット名が入力されたセル位置の 1 または複数指定し、第 2 の指定手段はカット名毎に画像が貼り付けられたセルのセル位置を指定し、撮影リストファイル作成手段は第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と第 2 の指定手段で指定されたセルに貼り付けられた画像の画像サイズを含む撮影リストファイルを作成し、転送手段は撮影リストファイルを画像入力装置に転送する。

【 0 0 2 4 】

また、請求項 1 1 にかかる発明は、複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、前記入力画面のセルにカット名を入力する入力手段と、前記入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更するセルサイズ変更手段と、前記セルに画像を貼り付ける画像貼り付け手段と、前記カット名が入力されたセルのセル位置の 1 または複数指定する第 1 の指定手段と、カット名毎に画像が貼り付けられたセルのセル位置を指定する第 2 の指定手段と、前記第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と前記第 2 の指定手段で指定されたセル位置の

セルに貼り付けられた画像の画像サイズを含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、前記撮影リストファイルを画像入力装置に転送するための転送手段と、を備えたものである。

【 0 0 2 5 】

上記発明によれば、表示手段は複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示し、入力手段は入力画面のセルにカット名を入力し、入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更し、画像貼り付け手段はセルに画像を貼り付け、第 1 の指定手段はカット名が入力されたセルのセル位置の 1 または複数を指定し、第 2 の指定手段はカット名毎に画像が貼り付けられたセルのセル位置を指定し、撮影リストファイル作成手段は第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と第 2 の指定手段で指定されたセル位置のセルに貼り付けられた画像の画像サイズを含む撮影リストファイルを作成し、転送手段は撮影リストファイルを画像入力装置に転送する。

【 0 0 2 6 】

また、請求項 1 2 にかかる発明は、請求項 7 ～請求項 1 1 のいずれか 1 つに記載の情報処理装置と、当該情報処理装置から転送されてくる撮影リストファイルを受信して、当該撮影リストファイルに従って撮影した画像を前記情報処理装置に転送する画像入力装置とで構築されるものである。上記発明によれば、請求項 7 ～請求項 1 1 のいずれか 1 つに記載の情報処理装置と、当該情報処理装置から転送されてくる撮影リストファイルを受信して、当該撮影リストファイルに従って撮影した画像を情報処理装置に転送する画像入力装置とで画像入力装置を構築する。

【 0 0 2 7 】

また、請求項 1 3 にかかる発明は、被写体像を結像するための光学系と、結像された被写体像を画像データに変換する撮像手段と、外部とデータ通信するための通信手段と、前記通信手段で E メールを受信した場合に、E メール内に撮影リストが含まれているか否かを判断する第 1 の判断手段と、前記第 1 の判断手段により E メール内に撮影リストが含まれている判断された場合に、当該撮影リストが自機の機種に応じた撮影リストであるか否かを判断する第 2 の判断手段と、を

備え、前記第 2 の判断手段により自機の機種に応じた撮影リストであると判断した場合に、当該撮影リストに基づいて撮影を行うものである。

【 0 0 2 8 】

上記発明によれば、光学系は被写体像を結像し、撮像手段は結像された被写体像を画像データに変換し、通信手段は外部とデータ通信し、第 1 の判断手段は通信手段で E メールを受信した場合に、E メール内に撮影リストが含まれているか否かを判断し、第 2 の判断手段は第 1 の判断手段により E メール内に撮影リストが含まれている判断された場合に、当該撮影リストが自機の機種に応じた撮影リストであるか否かを判断し、第 2 の判断手段により自機の機種に応じた撮影リストであると判断した場合に、当該撮影リストに基づいて撮影を行う。

【 0 0 2 9 】

また、請求項 1 4 にかかる発明は、被写体像を結像するための光学系と、結像された被写体像を画像データに変換する撮像手段と、W e b サーバーのホームページをブラウジングして、自機の機種に応じた撮影リストがある場合に当該撮影リストをダウンロードする W e b ブラウジング手段と、前記ダウンロードされた撮影リストを記録する記録手段と、を備え、前記ダウンロードされた撮影リストに基づいて撮影を行うものである。

【 0 0 3 0 】

上記発明によれば、光学系は被写体像を結像し、撮像手段は結像された被写体像を画像データに変換し、W e b ブラウジング手段は W e b サーバーのホームページをブラウジングして、自機の機種に応じた撮影リストがある場合に当該撮影リストをダウンロードし、記憶手段はダウンロードされた撮影リストを記録し、ダウンロードされた撮影リストに基づいて撮影を行う。

【 0 0 3 1 】

また、請求項 1 5 にかかる発明は、被写体像を結像するための光学系と、結像された被写体像を画像データに変換する撮像手段と、W e b サーバーのホームページ上の撮影リストをブラウジングする W e b ブラウジング手段と、を備え、前記ホームページ上の撮影リストに基づいて撮影を行うものである。

【 0 0 3 2 】

上記発明によれば、光学系は被写体像を結像し、撮影手段は結像された被写体像を画像データに変換し、Webブラウジング手段はWebサーバーのホームページ上の撮影リストをブラウジングし、ホームページ上の撮影リストに基づいて撮影を行う。

【 0 0 3 3 】

また、請求項 1 6 にかかる発明は、請求項 1 4 または請求項 1 5 にかかる発明において、前記撮影リストに基づいて撮影した画像を前記ホームページにアップロードするものである。上記発明によれば、請求項 1 4 または請求項 1 5 にかかる発明において、撮影リストに基づいて撮影した画像をホームページにアップロードする。

【 0 0 3 4 】

また、請求項 1 7 にかかる発明は、少なくとも、記録すべき被記録対象の 1 または複数のカット名を含む撮影リストを作成して画像入力装置に送出する撮影リスト作成・送出手段と、前記画像入力装置で前記撮影リストに従って撮影した画像を当該撮影リストとともに受信するための受信手段と、複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、前記撮影リストのカット名をセルに表示すると共に、前記カット名に対応させて撮影した画像を貼り付けるべきセルのサイズを読み出し、読み出したセルのサイズに撮影した画像のサイズを変換し、前記撮影した画像を貼り付けるべきセルに貼り付ける貼り付け手段と、を備えたものである。

【 0 0 3 5 】

上記発明によれば、撮影リスト作成・送出手段は、少なくとも、記録すべき被記録対象の 1 または複数のカット名を含む撮影リストを作成し、受信手段は画像入力装置で前記撮影リストに従って撮影した画像を当該撮影リストとともに受信し、表示手段は複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示し、貼り付け手段は、撮影リストのカット名をセルに表示すると共に、カット名に対応させて撮影した画像を貼り付けるべきセルのサイズを読み出し、読み出したセルのサイズに撮影した画像のサイズを変換し、撮影した画像を貼り付けるべきセルに貼り付ける。

【 0 0 3 6 】

また、請求項 1 8 にかかる発明は、請求項 1 7 にかかる発明において、前記貼り付け手段は、前記画像が貼り付けられたセルのサイズが変更された場合には、変更されたセルのサイズに画像を変換するものである。上記発明によれば、請求項 1 7 にかかる発明において、貼り付け手段は、画像が貼り付けられたセルのサイズが変更された場合には、変更されたセルのサイズに画像を変換するものである。

【 0 0 3 7 】

また、請求項 1 9 にかかる発明は、請求項 5 および請求項 1 3 ～請求項 1 6 のいずれか 1 つに記載の画像入力装置を適用したものである。上記発明によれば、請求項 5 および請求項 1 3 ～請求項 1 6 のいずれか 1 つに記載の画像入力装置をデジタルカメラに適用したものである。

【 0 0 3 8 】

また、請求項 2 0 にかかる発明は、請求項 5 および請求項 1 3 ～請求項 1 6 のいずれか 1 つに記載の画像入力装置を適用したものである。上記発明によれば、請求項 5 および請求項 1 3 ～請求項 1 6 のいずれか 1 つに記載の画像入力装置を携帯情報入力装置に適用したものである。

【 0 0 3 9 】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して、本発明にかかる画像入力装置、デジタルカメラ、携帯情報入力装置、情報処理装置、および画像入力システムの好適な実施の形態を詳細に説明する。

【 0 0 4 0 】

以下、〔本実施の形態にかかるデジタルカメラシステムの構成〕、〔本実施の形態にかかるデジタルカメラの構成〕、〔本実施の形態にかかるパーソナルコンピュータの構成〕、〔動作例 1 〕～〔動作例 1 3 〕を順に説明する。

【 0 0 4 1 】

〔本実施の形態にかかるデジタルカメラシステムの構成〕

図 1 は、本実施の形態にかかるデジタルカメラシステムの概略構成例を示して

いる。同図において、100はデジタルカメラを示し、200はパーソナルコンピュータ、300はWebサーバーを示す。デジタルカメラ100はパーソナルコンピュータ200に接続され、また、ネットワーク400を介してWebサーバー300に接続されている。

【0042】

パーソナルコンピュータ200では、撮影リストを作成し撮影指示ファイルとしてデジタルカメラ100に転送する。デジタルカメラ100では、撮影指示ファイルを使用して撮影を行う。そして、デジタルカメラ100は、撮影した画像をパーソナルコンピュータ200に転送したり、Webサーバー300にアップロードしたりする。また、デジタルカメラ100は、Webサーバー300のホームページ上の撮影指示ファイルをダウンロードして、撮影リストを使用して撮影を行う。

【0043】

上記デジタルカメラシステムの基本動作の概略を説明する。まず、パーソナルコンピュータ200では、使用者が、文書を作成しながら写真の撮影作業の構成（写真の目的、構図、細かな撮影条件、撮影後の作業指示等）を練り、撮影指示ファイルを作成してデジタルカメラに転送する。図2は撮影指示ファイルの一例を示す図である。図2に示す撮影指示ファイルは、カットNoと、カット名と、撮影指示の内容からなる。そして、デジタルカメラ100では、使用者が、パーソナルコンピュータ200から転送されてきた撮影指示ファイルの撮影指示を見ながら撮影を行い、撮影した画像をパーソナルコンピュータ200に転送する。パーソナルコンピュータ200では、デジタルカメラ100から転送されてくる画像を選択して文書に貼り付け等を行う。なお、撮影指示ファイルの撮影指示は、図2に示したような、操作者に指示を与えるためのテキスト文書や指示図面等の場合もあるが、撮影指示に従った処理をデジタルカメラで自動的に実行させるための操作コマンドの場合もある。

【0044】

[本実施の形態にかかるデジタルカメラの構成]

図3は、図1のデジタルカメラ100の構成を示すブロック図である。同図に

において、100は、デジタルカメラを示している。デジタルカメラ100は、同図に示す如く、デジタルカメラの全体の制御を行うシステム制御部101と、被写体を撮像して画像データを出力するカメラ部102と、カメラ部102から出力される画像データに対して画像処理等を行う画像データ記録・再生部103と、画像データ等の表示を行う表示部104と、音声データの記録・再生を行うための音声データ記録・再生部105と、使用者がデジタルカメラに動作指示を与えるための操作部106およびタッチパネル操作部107と、画像データ等の各種データが格納される記録部108と、PC/I F部109と、カードスロット部110と、電源部111とを備えている。

【0045】

上記システム制御部101は、上述したように、デジタルカメラの全体を制御するユニットであり、FLASH_ROM114に格納されたプログラムに従って、SD-RAM113をワークエリアとして使用してデジタルカメラの各種の制御を行うCPU112と、制御プログラムやフォント、アイコン等が記録されたFLASH_ROM114と、CPU112のワークエリアとして使用されるSD-RAM113とを備えている。また、システム制御部101は、AE・AF・AWB処理、画像編集／合成処理（レタッチ・上書き文字等の処理）、撮影リスト処理（リスト作成／フォルダ管理）、暗号化／電子すかし処理等の制御やメモリ制御を行う。

【0046】

上記カメラ部102は、上述したように被写体を撮像して画像データを出力するためのものであり、被写体像を結像するためのレンズ（ズームレンズ、フォーカスレンズ）、シャッター、およびアイリスや、レンズ（ズームレンズ、フォーカスレンズ）、シャッター、およびアイリス等を駆動するためのモータと、モータを駆動するためのモータドライバ、結像された被写体像を電気信号（アナログの画像データ）に変換するCCD、該CCDを駆動するためのCCD駆動回路、CCDから出力される画像データの低雑音化のためのCDS回路、CCDから出力されるアナログの画像データをデジタル信号（デジタル画像データ）に変換するA/D変換器等を備える。

【 0 0 4 7 】

画像データ記録・再生部 1 0 3 は、I P P 1 1 5 とフレームメモリ 1 1 6 からなり、カメラ部 1 0 2 の C C D 駆動回路を制御して C C D 駆動タイミングやレンズ駆動モータを制御してフォーカシングや露出調整、画像信号の圧縮伸長、画像信号を表示部 1 0 4 の L C D に表示するための信号処理を行い、また、使用者インターフェースのための種々のグラフィック画像を生成し、表示部 1 0 4 の L C D に表示するためのものである。表示部 1 0 4 は、L C D を備え、画像を表示し、また、使用者インターフェースのためのグラフィックを表示するためのものである。

【 0 0 4 8 】

上記記録部 1 0 8 には、画像データ、サムネイル画像データ、メールデータ、手書きデータ、音声データや、その他のデータが記録される。P C / I F 部 1 0 9 は、R S 2 3 2 C や U S B 等で外部装置（例えば、パソコン）とデータ通信するためのインターフェースである。カードスロット部 1 1 0 は、P C M C I A 規格に準拠した P C カードを差し込むためのアダプターである。P C カードとしては、無線若しくは有線でデータ通信を行うためのデータ通信カード等がカードスロット部に差し込まれる。

【 0 0 4 9 】

操作部 1 0 6 は、使用者がデジタルカメラに動作指示を与えるためのものであり、操作ボタン（リリースキー等）やモードダイヤルと、操作ボタン（リリースキー等）やモードダイヤルの状態を検出してシステム制御部 1 0 1 に通知するキー制御部等を備えている。

【 0 0 5 0 】

タッチパネル操作部 1 0 7 は、表示部 1 0 4 の L C D に貼り付けられたタッチパネル部と、タッチパネル部からの入力を C P U 1 1 2 に通知するパネル制御部とを備えている。

【 0 0 5 1 】

音声データ記録・再生部 1 0 5 は、マイク、アンプ、A / D 変換器、D / A 変換器等を備えており、マイクを介して入力される音声を A / D 変換して音声デー

タとしてシステム制御部 1 0 1 に出力し、また、システム制御部 1 0 1 から入力される音声データを D/A 変換して、スピーカーから出力する。

【 0 0 5 2 】

上述のデジタルカメラ 1 0 0 は、静止画撮影、動画撮影、音声記録、二値画像記録が可能となっており、さらに、Eメールの送受信機能、Web ブラウジング機能、自動 HTML 作成機能等を備えている。

【 0 0 5 3 】

[本実施の形態にかかるパーソナルコンピュータの構成]

図 4 は、図 1 のパーソナルコンピュータ 2 0 0 を示しており、パーソナルコンピュータ 2 0 0 は、操作指示を与える入力部 2 0 1 と、表示部 2 0 2 と、装置全体の制御を司る CPU 2 0 3 と、外部装置とデータ通信を行うデータ通信部 2 0 4 と、記録媒体 2 0 6 のデータのリード/ライトを行う記録媒体ドライブ装置 2 0 5 と、CPU 2 0 3 を動作させるプログラム等を格納した記録媒体 2 0 6 と、および CPU 2 0 3 のワークエリアとして使用される RAM 2 0 7 と、を備えている。各部はバスを介して互いに接続されている。

【 0 0 5 4 】

上記入力部 2 0 1 は、カーソルキー、数字入力キーおよび各種機能キー等を備えたキーボード、マウス、並びに画像を読みとるスキャナ等からなる。この入力部 2 0 1 は、必ずしもパーソナルコンピュータ 2 0 0 にローカルに接続される必要はなく、PHS・リモートターミナル（例えば、Personal Digital Assistant）等のリモート装置や、当該パーソナルコンピュータ 2 0 0 と双方向でデータ通信が可能な装置等を入力手段として使用しても良い。また、入力部 2 0 1 は、CPU 2 0 3 に操作コマンドを与えて動作させるための使用者インターフェースである。なお、入力部 2 0 1 としては、上記したものに限られるものではなく、タッチパネル操作部、トラックボールや音声認識機構等を用いても良い。

【 0 0 5 5 】

上記表示部 2 0 2 は、CRT (Cathod Ray Tube) LCD (Liquid Crystal Display) や、プラズマディスプレイ等により構成され、CPU 2 0 3 から入力される表示データに応じた表示が行われる。

【 0 0 5 6 】

上記CPU203は、例えば、32ビットマイクロプロセッサ、他のマイクロプロセッサ、DSP (Digital Signal Processor) や、プログラマブルロジック等からなる。また、CPU203は、必ずしもシングルプロセッサである必要はなく、分散処理をするタイプのものでも良い。このCPU203は、記録媒体206に格納されているプログラムに従って、装置全体を制御する中央制御ユニットであり、このCPU203は、入力部201、表示部202、通信部204、記録媒体ドライブ装置205、およびRAM207が接続されており、データ通信、メモリへのアクセスによるアプリケーションプログラムの読み出しや各種データのリード/ライト、データ/コマンド入力、カラー表示等を制御する。

【 0 0 5 7 】

上記通信部204は、電話回線、ISDN (Integrated Services Digital Network)、LAN (Local Area Network) や、WAN (Wide Area Network) 等に接続され、内蔵したモデム (図示せず) を経て電話回線を介してデータ通信を行う。また、通信部204は、RS232CインターフェースやIrDAインターフェースを備えており、デジタルカメラ等の外部機器と前述のRS232Cインターフェースを介してケーブル (有線) によるデータ通信や前述のIrDAインターフェースを介して赤外線 (無線) によるデータ通信を行う。

【 0 0 5 8 】

上記記録媒体206は、CPU203が実行可能なOSプログラム (例えば、WINDOWS) やアプリケーションプログラム等の各種プログラムやデータを格納する。アプリケーションプログラムとしては、例えば、上述したデジタルカメラの撮影リスト等の作成を行うためのデジタルカメラ用プログラム等がある。また、記録媒体206には、デジタルカメラの機種毎の使用可能な機能が登録された機種テーブルが記憶されている。具体的には、この機種テーブルには、機種コードに対応させて各機種が使用可能な機能が登録されている。上述の記録媒体206は、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、CD-ROM、DVD-ROM、MOやPCカード等の光学的・磁氣的・電氣的な記録媒体からなる。上記各種プログラムは、CPU203が直接または間接に解釈可能なオブジェ

クトコードやソースコード等の形態で記録媒体 2 0 6 に格納されている。記録媒体 2 0 6 に格納されたプログラムはネットワークを介して配信可能である。

【 0 0 5 9 】

上記 RAM 2 0 7 は、指定されたプログラム、入力指示、入力データおよび処理結果等を格納するワークメモリと、表示部 2 0 2 の表示画面に表示する表示データを一時的に格納する表示メモリとを備えている。

【 0 0 6 0 】

パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、記録媒体 2 0 6 に格納されているデジタルカメラ用プログラムを起動して、操作者が撮影指示リストを作成し、作成した撮影リストをデジタルカメラ 1 0 0 に転送する。

【 0 0 6 1 】

つぎに、上記デジタルカメラシステムにおいて、パーソナルコンピュータ 2 0 0 で撮影リストを作成し、当該作成した撮影リストをデジタルカメラに転送し、デジタルカメラ 1 0 0 で撮影リストを使用して撮影を行う場合の動作例 1 ～動作例 1 3 を説明する

【 0 0 6 2 】

[動作例 1]

動作例 1 を図 5 参照して説明する。図 5 は動作例 1 におけるデジタルカメラ 1 0 0 側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 1 では、パーソナルコンピュータ 2 0 0 で、撮影リストフォーマットの MODEL を定義して、装置のモデルを記載した撮影リストをデジタルカメラ 1 0 0 に転送し、デジタルカメラ 1 0 0 が、撮影リストの機種と一致する場合に撮影リストに基づいて撮影を行う場合の動作を説明する。

【 0 0 6 3 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、デジタルカメラの機種コードを含む撮影リストを作成する（具体的な撮影リストの作成方法については、動作例 2 ～動作例 5 参照）。撮影リストには、記録すべき被記録対象のカット名が含まれており（図 2 参照）、さらに、各カット名に関連づけて撮影指示内容が登録されている。デジタルカメラ 1 0 0 は、パーソナルコンピュータ 2 0 0 と接続して撮

影リストを読み込み、記録部 1 0 8 に格納する。

【 0 0 6 4 】

そして、図 5 において、システム制御部 1 0 1 は、記録部 1 0 8 から撮影リストを読み出して（ステップ S 1）、撮影指示内容を読み込む（ステップ S 2）。つづいて、システム制御部 1 0 1 は、機種名（モデル名）を撮影リスト内から読み込み（ステップ S 3）、自機の機種名と撮影リストの機種名が一致しているか否かを判断する（ステップ S 4）。この判断の結果、自機の機種名と撮影リストの機種名が一致していない場合にはリターンする一方、自機の機種名と撮影リストの機種名が一致している場合には、対応する撮影リストを読み込む（ステップ S 5）。つづいて、撮影リストに基づいて撮影が行われる（ステップ S 6）。

【 0 0 6 5 】

以上説明したように、動作例 1 によれば、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リストでデジタルカメラの機種名（MODEL）を定義して、機種名（MODEL）を記載した撮影リストをデジタルカメラ 1 0 0 に転送する一方、デジタルカメラ 1 0 0 は、自機の機種が撮影リストの機種と一致する場合に撮影指示リストに基づいて撮影を行うこととしたので、デジタルカメラでは、撮影リストに基づいて撮影を行って必要なカットの取り忘れ等を防止でき、指示者（撮影リストの作成者）の指示に従った撮影を行うことが可能となる。

【 0 0 6 6 】

なお、デジタルカメラ 1 0 0 では、撮影リストと撮影リストを使用して記録した記録ファイル（例えば、撮影した画像の画像ファイル）を、パーソナルコンピュータ 2 0 0 に転送する。これにより、撮影リストを作成したパーソナルコンピュータ 2 0 0 の使用者は、撮影リストを使用して撮影した画像等を利用（報告書の作成等）することができ、撮影リストの作成者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 6 7 】

[動作例 2]

動作例 2 を図 6 を参照して説明する。図 6 は動作例 2 におけるパーソナルコンピュータ 2 0 0 側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 2 では、パーソナルコンピュータ 2 0 0 で、デジタルカメラの機種に対応した撮影リス

トを作成して、デジタルカメラ 1 0 0 に転送する場合の動作を説明する。

【 0 0 6 8 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、上述のデジタルカメラ用プログラムを起動させ、使用者の入力部 2 0 1 の操作で、撮影リストのパラメータとしてデジタルカメラの機種名の指定を行う（ステップ S 1 1）。つづいて、上述の機種テーブルを使用して、指定された機種に対応した撮影リストを作成する（ステップ S 1 2）。なお、機種が指定された場合に、マクロプログラムを起動して、機種テーブルを使用して、指定された機種に対応する撮影リストを自動的に作成することにしても良い。上述の撮影リストには、記録すべき被記録対象のカット名と、各カット名に対応した撮影指示内容が記載される。

【 0 0 6 9 】

つづいて、接続されたデジタルカメラ 1 0 0 の機種名（機種コード）を読み込む（ステップ S 1 3）。撮影リスト中で指定した機種と接続された機種の機種名が一致するか否かを判断する（ステップ S 1 4）。

【 0 0 7 0 】

この判断の結果、撮影リスト中で指定した機種と接続された機種の機種名が一致する場合には、作成した撮影リストをデジタルカメラ 1 0 0 に転送する（ステップ S 1 5）一方、撮影リスト中で指定した機種と接続された機種の機種名が一致しない場合には、表示部に撮影リスト転送エラーの表示を行う（ステップ S 1 6）。

【 0 0 7 1 】

以上説明したように、動作例 2 によれば、パーソナルコンピュータ 2 0 0 で、デジタルカメラの機種に応じた撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、接続されるデジタルカメラの機種に応じた撮影リストを作成して転送することができ、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 7 2 】

なお、ここでは、パーソナルコンピュータ 2 0 0 は、接続されるデジタルカメラの機種コードを取得し、デジタルカメラの機種毎の使用可能な機能が登録され

た機種テーブルを使用して、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影指示リストを作成することとしたが、接続されるデジタルカメラから機種コードおよび使用可能な機能の情報を取得し、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影リストを作成することにしても良い。

【 0 0 7 3 】

〔動作例 3〕

動作例 3 を図 7 を参照して説明する。図 7 は動作例 3 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 3 では、パーソナルコンピュータ 2 0 0 で、デジタルカメラの機種に応じた撮影リストを作成して、デジタルカメラ 1 0 0 に転送する場合の動作を説明する。

【 0 0 7 4 】

図 7 において、まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、上述のデジタルカメラ用プログラムを起動させ、接続されるデジタルカメラ 1 0 0 の機種名（機種コード）をデジタルカメラ 1 0 0 から読み込む（ステップ S 2 1）。そして、上述の機種テーブルを使用して、読み込んだ機種に対応した撮影リストを作成する（ステップ S 2 2）。なお、マクロプログラムを起動して、機種テーブルを参照し、読み込んだ機種に対応した撮影リストを自動的に作成することにしても良い。上述の撮影リストには、記録すべき被記録対象のカット名と、各カット名に対応する撮影指示内容が記載される。そして、作成した撮影リストをデジタルカメラ 1 0 0 に転送する（ステップ S 2 3）。

【 0 0 7 5 】

以上説明したように、動作例 3 によれば、パーソナルコンピュータ 2 0 0 で、接続したデジタルカメラの機種を読み出し、当該読み出した機種に応じた撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、接続されるデジタルカメラの機種に応じた撮影リストを作成して転送することができ、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 7 6 】

なお、ここでは、パーソナルコンピュータ 2 0 0 は、接続されるデジタルカメ

ラの機種コードを取得し、デジタルカメラの機種毎の使用可能な機能が登録された機種テーブルを使用して、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影リストを作成することとしたが、接続されるデジタルカメラから機種コードおよび使用可能な機能の情報を取得し、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影リストを作成することにしても良い。

【 0 0 7 7 】

〔動作例 4〕

動作例 4 を図 8 を参照して説明する。図 8 は動作例 4 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 4 では、パーソナルコンピュータ 2 0 0 で、接続されるデジタルカメラから機種名（モデル）等が記載されたファイルを読み出し、読み出したファイル中の機種名（モデル）に対応した撮影リストを作成して、デジタルカメラ 1 0 0 に転送する場合の動作を説明する。

【 0 0 7 8 】

図 8 において、まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、上述のデジタルカメラ用プログラムを起動させ、接続されるデジタルカメラ 1 0 0 から、当該デジタルカメラの機種名（機種コード）が記載されたファイルを読み込む（ステップ S 3 1）。つづいて、上述の機種テーブルを使用して、読み込んだファイル中の機種に対応した撮影リストを作成する（ステップ S 3 2）。なお、マクロプログラムを起動して、機種テーブルを参照し、読み込んだ機種に対応した撮影リストを自動的に作成することにしても良い。上述の撮影リストには、記録すべき被記録対象のカット名と、各カット名に対応する撮影指示内容が記載される。そして、作成した撮影リストをデジタルカメラ 1 0 0 に転送する（ステップ S 3 3）。

【 0 0 7 9 】

以上説明したように、動作例 4 によれば、パーソナルコンピュータ 2 0 0 で、接続したデジタルカメラから、当該デジタルカメラの機種名が記載されたファイルを読み出し、当該読み出した機種に応じた撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、接続されるデジタルカメラの機種に応じた撮影リストを作成して転送することができ、撮影リスト作成・転送の作業効率および

デジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 8 0 】

なお、ここでは、パーソナルコンピュータ 2 0 0 は、接続されるデジタルカメラの機種コードを取得し、デジタルカメラの機種毎の使用可能な機能が登録された機種テーブルを使用して、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影指示リストを作成することとしたが、接続されるデジタルカメラから機種コードおよび使用可能な機能の情報を取得し、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影リストを作成することにしても良い。

【 0 0 8 1 】

[動作例 5]

動作例 5 を図 9 を参照して説明する。図 9 は動作例 5 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 5 では、パーソナルコンピュータで、接続されるデジタルカメラの記録ファイルのヘッダーを読み出し、ヘッダーに格納されている機種コード（機種名）に応じた撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【 0 0 8 2 】

図 9 において、まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、上述のデジタルカメラ用プログラムを起動させ、接続されたデジタルカメラの記録部 1 0 8 またはカードスロット部 1 1 0 に格納されている記録ファイル（E X I F 形式のファイル）のヘッダーを読み込む（ステップ S 4 1）。E X I F 形式のファイルではヘッダーに機種コード等の情報が格納されている。つづいて、上述の機種テーブルを使用して、読み込んだヘッダー内の機種コード（機種名）に対応した撮影リストを作成する（ステップ S 4 2）。なお、マクロプログラムを起動して、機種テーブルを参照し、読み込んだ機種コードに対応した撮影リストを自動的に作成することにしても良い。上述の撮影リストには、記録すべき被記録対象のカット名と、各カット名に対応する撮影指示内容が記載される。そして、作成した撮影リストをデジタルカメラ 1 0 0 に転送する（ステップ S 4 3）。

【 0 0 8 3 】

以上説明したように、動作例 5 によれば、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、接続したデジタルカメラの記録ファイルのヘッダーを読み出し、当該読み出したヘッダー内の機種コード（機種）に応じた撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、接続されるデジタルカメラの機種に応じた撮影リストを作成して転送することができ、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 8 4 】

なお、ここでは、パーソナルコンピュータ 2 0 0 は、接続されるデジタルカメラの機種コードを取得し、デジタルカメラの機種毎の使用可能な機能が登録された機種テーブルを使用して、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影指示リストを作成することとしたが、機種テーブルを使用しないで、接続されるデジタルカメラから機種コードおよび使用可能な機能の情報を取得し、当該使用可能な機能の情報に基づいて接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影リストを作成することにしても良い。

【 0 0 8 5 】

〔動作例 6〕

動作例 6 を図 1 0 を参照して説明する。図 1 0 は動作例 6 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 6 では、パーソナルコンピュータで、予めテンプレートのマクロプログラムにカット名として取り出すセルの位置の情報を埋め込んでおき、マクロプログラムを駆動して、自動的に撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【 0 0 8 6 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リスト書き出しマクロがスタートすると、帳票形式の画面を表示し、撮影リスト書き出しボタンが押下されたか否かを判断し（ステップ S 5 1）、撮影リスト書き出しボタンが押下された場合には、選択されたセル内に記載された項目（カット名）をリストの形式に並べ（ステップ S 5 2）、撮影リストファイルを作成する（ステップ S 5 3）。図 1

1 は帳票形式の画面の一例を示している。同図において、マクロプログラムには、カット名を取り出すセルの位置情報として、予め B 3 ～ B 7 のセルの位置の情報が埋め込まれており、使用者の入力部 2 0 1 の操作で、B 3 ～ B 7 のセルにカット名” カット 1 ”、” カット 2 ”、” カット 3 ”、” カット 4 ”、” カット 5 ” が入力される。そして、撮影リスト書き出しボタンが押下されると、B 3 ～ B 7 のセルのカット名” カット 1 ”、” カット 2 ”、” カット 3 ”、” カット 4 ”、” カット 5 ” が読み出されて撮影リストファイルが作成される。

【 0 0 8 7 】

つづいて、デジタルカメラが接続されているか否かを判断し（ステップ S 5 4 ）、デジタルカメラが接続されている場合には、ステップ S 5 5 に移行して、デジタルカメラ 1 0 0 に撮影リストファイルを転送する。

【 0 0 8 8 】

以上説明したように、動作例 6 によれば、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、予めテンプレートのマクロプログラムにカット名として取り出すセルの位置の情報が埋め込まれており、当該マクロを駆動して、自動的に撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 8 9 】

〔動作例 7〕

動作例 7 を図 1 2 参照して説明する。図 1 2 は動作例 7 におけるパーソナルコンピュータ側およびデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 7 では、パーソナルコンピュータで、セルの位置を指定し、マクロを駆動して、自動的に撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【 0 0 9 0 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リスト書き出しマクロがスタートすると、帳票形式の画面を表示部 2 0 2 に表示し、撮影リスト書き出しボタンが押下されたか否かを判断し（ステップ S 6 1 ）、撮影リスト書き出しボタン

が押下された場合には、セルの位置を指定し、選択されたセル内に記載された項目をリストの形式に並べ（ステップ S 6 2）、撮影リストファイルを作成する（ステップ S 6 3）。つづいて、デジタルカメラが接続されているか否かを判断し（ステップ S 6 4）、デジタルカメラが接続されている場合には、ステップ S 6 5に移行して、デジタルカメラに撮影リストファイルを転送する。

【 0 0 9 1 】

上記図 1 1 は帳票形式の画面の一例を示している。同図において、使用者の入力部 2 0 1 の操作で、B 3 ～ B 7 のセルにカット名” カット 1 ”、” カット 2 ”、” カット 3 ”、” カット 4 ”、” カット 5 ” が入力される。そして、使用者の入力部 2 0 1 の操作で、B 3 ～ B 7 のセルが選択され、撮影リスト書き出しボタンが押下されると、B 3 ～ B 7 のセルのカット名” カット 1 ”、” カット 2 ”、” カット 3 ”、” カット 4 ”、” カット 5 ” が読み出されて撮影リストファイルが作成される。

【 0 0 9 2 】

他方、デジタルカメラ 1 0 0 では、パーソナルコンピュータ（P C）2 0 0 と接続されているか否かを判断する（ステップ S 7 1）。パーソナルコンピュータ 2 0 0 が接続されている場合には、ステップ S 7 2 に移行し、デジタルカメラ 1 0 0 から撮影リストが転送されてきたか否かを判断し、デジタルカメラ 1 0 0 から撮影リストが転送されてきた場合には、自機の機種に応じた撮影リストであるか否かを判断し（ステップ S 7 3）、自機の機種に応じた撮影リストである場合には、撮影リストを読み込む（ステップ S 7 4）。つづいて、撮影リスト撮影モードであるか否かを判断し（ステップ S 7 5）、撮影リスト撮影モードである場合には、撮影リスト内のカット名に応じた撮影を行う（ステップ S 7 6）。

【 0 0 9 3 】

以上説明したように、動作例 7 によれば、パーソナルコンピュータ 2 0 0 で、予使用者によって、カット名として取り出すセルの位置を指示し、マクロを駆動して、自動的に選択されたセルのカット名を読み出して撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い

勝手が良くなる。

【 0 0 9 4 】

〔動作例 8〕

動作例 8 を図 1 3 を参照して説明する。図 1 3 は動作例 8 におけるパーソナルコンピュータ側およびデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 8 では、パーソナルコンピュータで、セルの位置を指定し、マクロを駆動して、撮影指示項目も含んだ撮影リストを自動的に作成して、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【 0 0 9 5 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リスト書き出しマクロがスタートすると、帳票形式の画面を表示部 2 0 2 に表示し、撮影リスト書き出しボタンが押下されたか否かを判断し（ステップ S 8 1）、撮影リスト書き出しボタンが押下された場合には、セルの位置を指定し、選択されたセル内に記載されたカット名および当該カット名に対応する撮影指示項目を読み込む（ステップ S 8 2）。そして、カット名および当該カット名に対応する撮影指示項目を含んだ撮影リストファイルを作成する（ステップ S 8 3）。

【 0 0 9 6 】

図 1 4 は帳票形式の画面の一例を示している。同図において、使用者の入力部 2 0 1 の操作で、B 3 ～ B 7 のセルにカット名” カット 1 ”、” カット 2 ”、” カット 3 ”、” カット 4 ”、” カット 5 ” が入力され、さらに、C 3 ～ C 7 のセルに、撮影指示項目” A さんを撮影 ”、” B さんを撮影 ”、” C さんを撮影 ”、” D さんを撮影 ”、” E さんを撮影 ” が入力される。そして、使用者の入力部 2 0 1 の操作で、B 3 ～ B 7 のセルが選択され、撮影リスト書き出しボタンが押下されると、B 3 ～ B 7 のセルのカット名” カット 1 ”、” カット 2 ”、” カット 3 ”、” カット 4 ”、” カット 5 ” と、当該カット名” カット 1 ”、” カット 2 ”、” カット 3 ”、” カット 4 ”、” カット 5 ” に各々対応する撮影指示項目” A さんを撮影 ”、” B さんを撮影 ”、” C さんを撮影 ”、” D さんを撮影 ”、” E さんを撮影 ” が読み出され、撮影リストファイルが作成される。

【 0 0 9 7 】

つづいて、デジタルカメラ100が接続されているか否かを判断し（ステップS84）、デジタルカメラ100が接続されていると判断した場合には、ステップS85に移行して、デジタルカメラ100に撮影リストファイルを転送する。

【0098】

他方、デジタルカメラ100では、パーソナルコンピュータ（PC）と接続されているか否かを判断し（ステップS91）、パーソナルコンピュータが接続されている場合には、ステップS92に移行し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきたか否かを判断し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきた場合には、自機の機種に応じた撮影リストであるか否かを判断し（ステップS93）、自機の機種に応じた撮影リストである場合には、撮影リスト内に記載された撮影指示項目を読み込む（ステップS94）。つづいて、撮影リスト撮影モードであるか否かを判断し（ステップS95）、撮影リスト撮影モードである場合には、撮影リスト内のカット名に応じた撮影を行う（ステップS96）。

【0099】

以上説明したように、動作例8によれば、パーソナルコンピュータ200で、予使用者によって、カット名として取り出すセルの位置を指示し、マクロを駆動して、自動的に撮影指示項目を含む撮影リストファイルを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【0100】

[動作例9]

動作例9を図15を参照して説明する。図15は動作例9におけるパーソナルコンピュータ側およびデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例9では、パーソナルコンピュータで、カット名として取り出すセルの位置と、画像を貼り付けるセルの位置を指示し、カット名と画像を貼り付けるセルのサイズを読み出して、自動的に撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【0101】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リスト書き出しマクロがスタートすると、帳票形式の画面を表示部 2 0 2 に表示し、撮影リスト書き出しボタンが押下されたか否かを判断し（ステップ S 1 0 1）、撮影リスト書き出しボタンが押下された場合には、選択されたセルの位置に記載された項目（カット名）をリストの形式に並べる（ステップ S 1 0 2）。そして、画像を貼り付けるセルの位置を指定し、指定されたセルのセルサイズを読み込んで、カット名と画像貼り付けサイズを含んだ撮影リストファイルを作成する（ステップ S 1 0 3）。

【 0 1 0 2 】

図 1 6 は帳票形式の画面の一例を示している。同図において、使用者の入力部 2 0 1 の操作で、B 4 ～ B 7 のセルにカット名” カット 1 ”、” カット 2 ”、” カット 3 ”、” カット 4 ” が入力される。そして、使用者の入力部 2 0 1 の操作で、撮影リスト書き出しボタンが押下され、カット名として取り出す B 4 ～ B 7 のセルが選択されると B 4 ～ B 7 のセルのカット名” カット 1 ”、” カット 2 ”、” カット 3 ”、” カット 4 ” が読み出され、さらに、画像を貼り付けるセル C 4 ～ C 7 が選択されると、セル C 4 ～ C 7 のセルサイズを読み出し、カット名” カット 1 ”、” カット 2 ”、” カット 3 ”、” カット 4 ” に、” セル C 4 のセルサイズ”、セル C 5 のセルサイズ”、” セル C 6 のセルサイズ”、” セル C 7 のセルサイズ” を各々対応させた撮影リストファイルが作成される。

【 0 1 0 3 】

つづいて、デジタルカメラが接続されているか否かを判断し（ステップ S 1 0 4）、デジタルカメラが接続されていると判断した場合には、ステップ S 1 0 5 に移行して、デジタルカメラ 1 0 0 にカット名および貼り付けサイズを含んだ撮影リストファイルを転送する。

【 0 1 0 4 】

他方、デジタルカメラでは、パーソナルコンピュータ（PC）と接続されているか否かを判断し（ステップ S 1 1 1）、パーソナルコンピュータが接続されている場合には、ステップ S 1 1 2 に移行し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきたか否かを判断し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきた場合には、自機の機種に応じた撮影リストであるか否かを判断し（ステップ S 1

13)、自機の機種に応じた撮影リストである場合には、撮影リスト内に記載された撮影項目を読み込む(ステップS114)。

【0105】

つづいて、撮影リスト撮影モードであるか否かを判断し(ステップS115)、撮影リスト撮影モードである場合には、撮影リスト内の貼り付けサイズを読み込む(ステップS116)。そして、貼り付けサイズに応じた画像の撮影を行う(ステップS117)。撮影後、撮影が全て終了したか否かを判断し、撮影が全て終了していない場合にはステップS116に移行して、撮影が全て終了するまで同じ処理を繰り返す(ステップS118)。

【0106】

以上説明したように、動作例9によれば、パーソナルコンピュータ200で、カット名として取り出すセルの位置と、画像を貼り付けるセルの位置を指定し、カット名と画像を貼り付けるセルのサイズを読み出して、自動的に撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【0107】

[動作例10]

動作例10を図17を参照して説明する。図17は動作例10におけるパーソナルコンピュータ側およびデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例10では、パーソナルコンピュータで、文書に予めダミーの画像を貼り付けておいて、その画像のサイズを読み出して、自動的に画像サイズを含んだ撮影リストを作成し、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【0108】

まず、パーソナルコンピュータ200では、撮影リスト書き出しマクロがスタートすると、帳票形式の画面を表示部202に表示し、画像を貼り付けたい位置にダミー画像を貼り付ける(ステップS121)。つづいて、撮影リスト書き出しボタンが押下されたか否かを判断し(ステップS122)、撮影リスト書き出

しボタンが押下された場合には、選択されたセルの位置に記載されたカット名をリストの形式に並べる（ステップ S 1 2 3）。そして、貼り付ける位置に入っているダミーの画像を読み込み、ダミー画像のサイズ（貼り付けサイズ）を計算し、カット名と当該カット名に対応するダミー画像のサイズ（貼り付けサイズ）を含んだ撮影リストファイルを作成する（ステップ S 1 2 4）。

【 0 1 0 9 】

図 1 8 は帳票形式の画面の一例を示している。同図において、使用者の入力部 2 0 1 の操作で、B 4 ～ B 7 のセルにカット名” カット 1 ”、” カット 2 ”、” カット 3 ”、” カット 4 ” が入力され、さらに、C 4 ～ C 7 のセルに” ダミー画像 1 ”、” ダミー画像 2 ”、” ダミー画像 3 ”、” ダミー画像 4 ” を貼り付ける。そして、使用者の入力部 2 0 1 の操作で、撮影リスト書き出しボタンが押下され、カット名として取り出す B 4 ～ B 7 のセルが選択されると B 4 ～ B 7 のセルのカット名” カット 1 ”、” カット 2 ”、” カット 3 ”、” カット 4 ” が読み出され、さらに、ダミー画像が貼り付けられたセル C 4 ～ C 7 が選択されると、セル C 4 ～ C 7 のセルに貼り付けられたダミー画像のサイズを各々計算し、カット名” カット 1 ”、” カット 2 ”、” カット 3 ”、” カット 4 ” に、” ダミー画像 1 のサイズ”、” ダミー画像 2 のサイズ”、” ダミー画像 3 のサイズ”、” ダミー画像 4 のサイズ” を各々対応させた撮影リストファイルが作成される。

【 0 1 1 0 】

つづいて、デジタルカメラが接続されているか否かを判断し（ステップ S 1 2 5）、デジタルカメラが接続されていると判断した場合には、ステップ S 1 2 6 に移行して、カット名および貼り付けサイズを含んだ撮影リストファイルを転送する。

【 0 1 1 1 】

他方、デジタルカメラでは、パーソナルコンピュータ（P C）と接続されているか否かを判断し（ステップ S 1 3 1）、パーソナルコンピュータが接続されている場合には、ステップ S 1 3 2 に移行し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきたか否かを判断し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきた場合には、自機の機種に応じた撮影リストであるか否かを判断し（ステップ S 1

33)、自機の機種に応じた撮影リストである場合には、撮影リスト内に記載された撮影項目を読み込む(ステップS134)。

【0112】

つづいて、撮影リスト撮影モードであるか否かを判断し(ステップS135)、撮影リスト撮影モードである場合には、撮影リスト内の貼り付けサイズを読み込む(ステップS136)。そして、貼り付けサイズに応じた画像の撮影を行う(ステップS137)。撮影後、撮影が全て終了したか否かを判断し(ステップS138)、撮影が全て終了していない場合にはステップS136に移行して、撮影が全て終了するまで同じ処理を繰り返す(ステップS136～S138)。

【0113】

以上説明したように、動作例10によれば、パーソナルコンピュータ200では、画面内に予めダミーの画像を貼り付けておいて、そのダミー画像のサイズを読み出し、画像サイズを含んだ撮影リストファイルを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【0114】

[動作例11]

動作例11を図19を参照して説明する。図19は動作例11におけるパーソナルコンピュータ200側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例11では、パーソナルコンピュータで、デジタルカメラによって撮影リストに従って撮影した画像ファイルを取り込んで、撮影リストに撮影画像を貼り付ける動作を説明する。

【0115】

まず、パーソナルコンピュータ100では、撮影リスト読み込みモードが否かを判断し(ステップS141)、撮影リスト読み込みモードである場合には、デジタルカメラと接続されているか否かを判断する(ステップS142)。デジタルカメラと接続されていると判断した場合には、接続されるデジタルカメラ内の撮影済みの撮影リストを画像ファイルとともに読み込む(ステップS143)。

【0116】

そして、読み込みが終了したか否かを判断し（ステップS144）、読み込みが終了した場合には、セルの貼り付け位置に応じたサイズを読み込む（ステップS145）。読み込んだ画像をセルのサイズに併せて画像サイズを変換する（ステップS146）。そして、画像サイズの変換が終了したか否かを判断して（ステップS147）、画像サイズの変換が終了した場合には、セルの指定位置に変換された画像を貼り付ける（ステップS148）。

【0117】

上記図16は帳票形式の画面を示しており、図16において、画像を貼り付けるセルC4～C7を選択し、当該セルC4～C7のセルサイズを読み込み、デジタルカメラの撮影済み画像1～4を当該セルサイズに変換し、図20に示すように、セルC4～C7に貼り付ける。

【0118】

以上説明したように、動作例11によれば、パーソナルコンピュータ200では、デジタルカメラによって撮影リストに従って撮影した画像ファイルを取り込んで、撮影リストに撮影画像を貼り付けることとしたので、撮影リストに従って撮影した画像の編集が容易となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【0119】

〔動作例12〕

動作例12を図21を参照して説明する。図21は動作例12におけるデジタルカメラ100側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例12では、デジタルカメラはEメールで撮影指示ファイルを受信すると、撮影指示ファイルに従って撮影を行う場合の動作例を説明する。

【0120】

まず、デジタルカメラでは、E-MAIL（Eメール）を受信したか否かを判断し（ステップS151）、E-MAILを受信した場合には、ステップS152に移行し、受信したE-MAILの内容が撮影リストであるか否かを判断する（ステップS152）。受信したE-MAILの内容が撮影リストである場合には、自機の機種に対応した撮影リストであるか否かを判断し（ステップS153

）、自機の機種に対応した撮影リストである場合には、撮影リストとして添付ファイルを読み込む（ステップ S 1 5 4）。そして、撮影リスト撮影モードであるか否かを判断し（ステップ S 1 5 5）、撮影リスト撮影モードである場合には、撮影リストの内容（カット名、貼り付けサイズ等）を読み込む（ステップ S 1 5 6）。

【 0 1 2 1 】

そして、撮影リストの指示に従って、撮影を行う（ステップ S 1 5 7）。この後、撮影が全て終了したか否かを判断し（ステップ S 1 5 8）、撮影が全て終了していない場合にはステップ S 1 5 4 に移行して、撮影が全て終了するまで同じ処理を繰り返す（ステップ S 1 5 4 ～ S 1 5 8）。

【 0 1 2 2 】

以上説明したように、動作例 1 1 によれば、デジタルカメラ 1 0 0 では、メールで撮影リストを受信して、撮影リストに従って撮影を行うこととしたので、撮影リストを容易に取得して、撮影リストに従って撮影を行うことができ、必要なカットの取り忘れ等を防止することができ、指示者（撮影リストの作成者）の指示に従った撮影を行うことが可能となる。

【 0 1 2 3 】

〔動作例 1 3〕

動作例 1 3 を図 2 2 を参照して説明する。図 2 2 は動作例 1 3 におけるデジタルカメラ 1 0 0 側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 1 3 では、デジタルカメラでは、Web ブラウザで、Web サーバー 3 0 0 のホームページから撮影指示ファイルを取り込み、取り込んだ撮影指示ファイルに従って撮影を行う場合の動作例を説明する。

【 0 1 2 4 】

まず、デジタルカメラでは、Web モードであるか否かを判断し（ステップ S 1 6 1）、Web モードである場合には、ホームページからファイルを読み込むモードであるか否かを判断する（ステップ S 1 6 2）。ホームページからファイルを読み込むモードである場合には、機種に応じたリストであるか否かを判断する（ステップ S 1 6 3）。機種に応じたリストである場合には、ステップ S 1 6

4に移行し、撮影リストとしてホームページ上の添付ファイルをダウンロードする（ステップS 1 6 4）。そして、撮影リスト撮影モードであるか否かを判断し（ステップS 1 6 5）、撮影リスト撮影モードである場合には、撮影リストの内容（カット名、貼り付けサイズ等）を読み込む（ステップS 1 6 6）。

【0 1 2 5】

そして、撮影リストの指示に従って、撮影を行う（ステップS 1 6 7）。そして、撮影が全て終了したか否かを判断し（ステップS 1 6 8）、撮影が全て終了していない場合にはステップS 1 6 4に移行して、撮影が全て終了するまで同じ処理を繰り返す（ステップS 1 6 4～S 1 6 8）。

【0 1 2 6】

以上説明したように、動作例 1 3 によれば、デジタルカメラ 1 0 0 では、Web ブラウザで、Web サーバーのホームページから撮影指示ファイルを取り込み、取り込んだ撮影指示ファイルに従って撮影を行うこととしたので、撮影リストを容易に取得して、撮影リストに従って撮影を行うことができ、必要なカットの取り忘れ等を防止することができ、指示者（撮影リストの作成者）の指示に従った撮影を行うことが可能となる。

【0 1 2 7】

【発明の効果】

以上説明したように、請求項 1 にかかる情報処理装置によれば、撮影リスト作成手段は画像入力装置に操作指示を与えるための、当該画像入力装置の機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを作成し、通信手段は撮影リスト作成手段で作成された撮影リストを画像入力装置に転送することとしたので、接続される画像入力装置の機種に応じた撮影リストを作成して転送することができ、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【0 1 2 8】

また、請求項 2 にかかる情報処理装置によれば、請求項 1 にかかる発明において、撮影リスト作成手段は接続される画像入力装置から機種名情報を読み出すこととしたので、請求項 1 にかかる発明の効果に加えて、接続される画像入力装置

の機種名を容易に取得することが可能となる。

【 0 1 2 9 】

また、請求項 3 にかかる情報処理装置によれば、請求項 1 にかかる発明において、撮影リスト作成手段は、接続される画像入力装置に格納されている記録ファイルのヘッダーから機種名情報を読み出すこととしたので、請求項 1 にかかる発明の効果に加えて、接続される画像入力装置の機種名を容易に取得することが可能となる。

【 0 1 3 0 】

また、請求項 4 にかかる情報処理装置によれば、請求項 1 ～請求項 3 のいずれか 1 つにかかる発明において、撮影リスト作成手段は、画像入力装置の機種毎の機種能力情報が登録されたテーブルを使用して、機種に応じた撮影リストを作成することとしたので、請求項 1 ～請求項 3 のいずれか 1 つにかかる発明の効果に加えて、機種に応じた撮影リストの作成が容易となる。

【 0 1 3 1 】

また、請求項 5 にかかる画像入力装置によれば、光学系は被写体像を結像し、撮像手段は結像された被写体像を画像データに変換し、受信手段は情報処理装置から転送されてくる、機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを受信し、記憶手段は受信手段で受信した撮影リストを記憶し、判断手段は撮影リストの機種名情報を読み出して、自機の機種名と撮影リストの機種名とが一致するかどうかを判断し、判断手段により自機の機種名と撮影リストの機種名とが一致すると判断された場合に、当該撮影リストに基づいて撮影を行うこととしたので、デジタルカメラでは、撮影リストに基づいて撮影を行って必要なカットの取り忘れ等を防止でき、指示者（撮影リストの作成者）の指示に従った撮影を行うことが可能となる。

【 0 1 3 2 】

また、請求項 6 にかかる画像入力システムによれば、請求項 1 ～請求項 4 のいずれか 1 つにかかる情報処理装置と、請求項 5 に記載された画像入力装置とで構築することとしたので、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能な画像入力システムを提供することが可能

となる。

【 0 1 3 3 】

また、請求項 7 にかかる情報処理装置によれば、表示手段は複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示し、入力手段は入力画面のセルにカット名を入力し、指定手段はカット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定し、撮影リストファイル作成手段は指定手段で指定されたセル位置のカット名を含む撮影リストファイルを作成し、撮影リストファイルを画像入力装置に転送することとしたので、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 1 3 4 】

また、請求項 8 にかかる情報処理装置によれば、表示手段は複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示し、入力手段は入力画面のセルにカット名および当該カット名に対応する撮影指示項目を入力し、指定手段は記カット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定し、撮影リストファイル作成手段は指定手段で指定されたセル位置のカット名および当該カット名に対応する撮影指示項目を含む撮影リストファイルを作成し、転送手段は撮影リストファイルを画像入力装置に転送することとしたので、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 1 3 5 】

また、請求項 9 にかかる画像処理装置によれば、表示手段は複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示し、入力手段は入力画面のセルにカット名を入力し、セルサイズ変更手段は入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更し、第 1 の指定手段はカット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定し、第 2 の指定手段はカット名毎に画像を貼り付けるべきセル位置を指定し、撮影リスト作成手段は第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と第 2 の指定手段で指定されたセルのセルサイズを含む撮影リストファイルを作成し、転送手段は撮影リストファイルを画像入力装置に転送することとしたので、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 1 3 6 】

また、請求項 1 0 にかかる情報処理装置によれば、表示手段は複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示し、入力手段は入力画面のセルにカット名を入力し、セルサイズ変更手段は入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更し、画像貼り付け手段はセルに画像を貼り付け、第 1 の指定手段はカット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定し、第 2 の指定手段はカット名毎に画像が貼り付けられたセルのセル位置を指定し、撮影リストファイル作成手段は第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と第 2 の指定手段で指定されたセルに貼り付けられた画像の画像サイズを含む撮影リストファイルを作成し、転送手段は撮影リストファイルを画像入力装置に転送することとしたので、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 1 3 7 】

また、請求項 1 1 にかかる情報処理装置によれば、表示手段は複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示し、入力手段は入力画面のセルにカット名を入力し、入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更し、画像貼り付け手段はセルに画像を貼り付け、第 1 の指定手段はカット名が入力されたセルのセル位置の 1 または複数を指定し、第 2 の指定手段はカット名毎に画像が貼り付けられたセルのセル位置を指定し、撮影リストファイル作成手段は第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と第 2 の指定手段で指定されたセル位置のセルに貼り付けられた画像の画像サイズを含む撮影リストファイルを作成し、転送手段は撮影リストファイルを画像入力装置に転送することとしたので、撮影リスト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 1 3 8 】

また、請求項 1 2 にかかる画像入力システムによれば、請求項 7 ～請求項 1 1 のいずれか 1 つに記載の情報処理装置と、当該情報処理装置から転送されてくる撮影リストファイルを受信して、当該撮影リストファイルに従って撮影した画像を情報処理装置に転送する画像入力装置とで構築することとしたので、撮影リス

ト作成・転送の作業効率およびデジタルカメラ側の作業効率を向上させることが可能な画像入力システムを提供することが可能となる。

【0139】

また、請求項13にかかる画像入力装置によれば、光学系は被写体像を結像し、撮像手段は結像された被写体像を画像データに変換し、通信手段は外部とデータ通信し、第1の判断手段は通信手段でEメールを受信した場合に、Eメール内に撮影リストが含まれているか否かを判断し、第2の判断手段は第1の判断手段によりEメール内に撮影リストが含まれている判断された場合に、当該撮影リストが自機の機種に応じた撮影リストであるか否かを判断し、第2の判断手段により自機の機種に応じた撮影リストであると判断した場合に、当該撮影リストに基づいて撮影を行うこととしたので、撮影リストを容易に取得して、撮影リストに従って撮影を行うことができ、必要なカットの取り忘れ等を防止することができ、指示者（撮影リストの作成者）の指示に従った撮影を行うことが可能となる。

【0140】

また、請求項14にかかる画像入力装置によれば、光学系は被写体像を結像し、撮像手段は結像された被写体像を画像データに変換し、Webブラウジング手段はWebサーバーのホームページをブラウジングして、自機の機種に応じた撮影リストがある場合に当該撮影リストをダウンロードし、記憶手段はダウンロードされた撮影リストを記録し、ダウンロードされた撮影リストに基づいて撮影を行うこととしたので、撮影リストを容易に取得して、撮影リストに従って撮影を行うことができ、必要なカットの取り忘れ等を防止することができ、指示者（撮影リストの作成者）の指示に従った撮影を行うことが可能となる。

【0141】

また、請求項15にかかる画像入力装置によれば、光学系は被写体像を結像し、撮影手段は結像された被写体像を画像データに変換し、Webブラウジング手段はWebサーバーのホームページ上の撮影リストをブラウジングし、ホームページ上の撮影リストに基づいて撮影を行うこととしたので、撮影リストを容易に

取得して、撮影リストに従って撮影を行うことができ、必要なカットの取り忘れ等を防止することができ、指示者（撮影リストの作成者）の指示に従った撮影を行うことが可能となる。

【 0 1 4 2 】

また、請求項 1 6 にかかる画像入力装置によれば、請求項 1 4 または請求項 1 5 にかかる発明において、撮影リストに基づいて撮影した画像をホームページにアップロードすることとしたので、請求項 1 4 または請求項 1 5 にかかる発明の効果に加えて、撮影した画像をホームページに自動的にアップロードすることが可能となる。

【 0 1 4 3 】

また、請求項 1 7 にかかる情報処理装置によれば、撮影リスト作成・送出手段は、少なくとも、記録すべき被記録対象の 1 または複数のカット名を含む撮影リストを作成し、受信手段は画像入力装置で前記撮影リストに従って撮影した画像を当該撮影リストとともに受信し、表示手段は複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示し、貼り付け手段は、撮影リストのカット名をセルに表示すると共に、カット名に対応させて撮影した画像を貼り付けるべきセルのサイズを読み出し、読み出したセルのサイズに撮影した画像のサイズを変換し、撮影した画像を貼り付けるべきセルに貼り付けることとしたので、撮影リストに従って撮影した画像の編集が容易となり、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 1 4 4 】

また、請求項 1 8 にかかる情報処理装置によれば、請求項 1 7 にかかる発明において、貼り付け手段は、画像が貼り付けられたセルのサイズが変更された場合には、変更されたセルのサイズに画像を変換することとしたので、請求項 1 7 にかかる発明の効果に加えて、撮影した画像の編集がより容易となる。

【 0 1 4 5 】

また、請求項 1 9 にかかるデジタルカメラによれば、請求項 5 および請求項 1 3 ～請求項 1 6 のいずれか 1 つに記載の画像入力装置を適用することとしたので、撮影リストに基づいて撮影を行って必要なカットの取り忘れ等を防止でき、指示者（撮影リストの作成者）の指示に従った撮影を行うことが可能なデジタルカ

メラを提供することが可能となる。

【 0 1 4 6 】

また、請求項 2 0 にかかる携帯情報入力装置によれば、請求項 5 および請求項 1 3 ～請求項 1 6 のいずれか 1 つに記載の画像入力装置を適用することとしたので、撮影リストに基づいて撮影を行って必要なカットの取り忘れ等を防止でき、指示者（撮影リストの作成者）の指示に従った撮影を行うことが可能な携帯情報入力装置を提供することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施の形態にかかるデジタルカメラシステムの概略構成例を示す図である。

【図 2】

撮影指示ファイルの一例を示す図である。

【図 3】

図 1 のデジタルカメラの構成を示すブロック図である。

【図 4】

図 1 のパーソナルコンピュータの構成を示すブロック図である。

【図 5】

動作例 1 におけるデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 6】

動作例 2 におけるデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 7】

動作例 3 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 8】

動作例 4 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 9】

動作例 5 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 1 0】

動作例 6 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 1 1】

帳票形式の画面の一例を示す図である。

【図 1 2】

動作例 7 におけるパーソナルコンピュータ側およびデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 1 3】

動作例 8 におけるパーソナルコンピュータ側およびデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 1 4】

帳票形式の画面の一例を示す図である。

【図 1 5】

動作例 9 におけるパーソナルコンピュータ側およびデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 1 6】

帳票形式の画面の一例を示す図である。

【図 1 7】

動作例 1 0 におけるパーソナルコンピュータ側およびデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 1 8】

帳票形式の画面の一例を示す図である。

【図 1 9】

動作例 1 1 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 2 0】

帳票形式の画面の一例を示す図である。

【図 2 1】

動作例 1 2 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 2 2】

動作例 1 3 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートである。

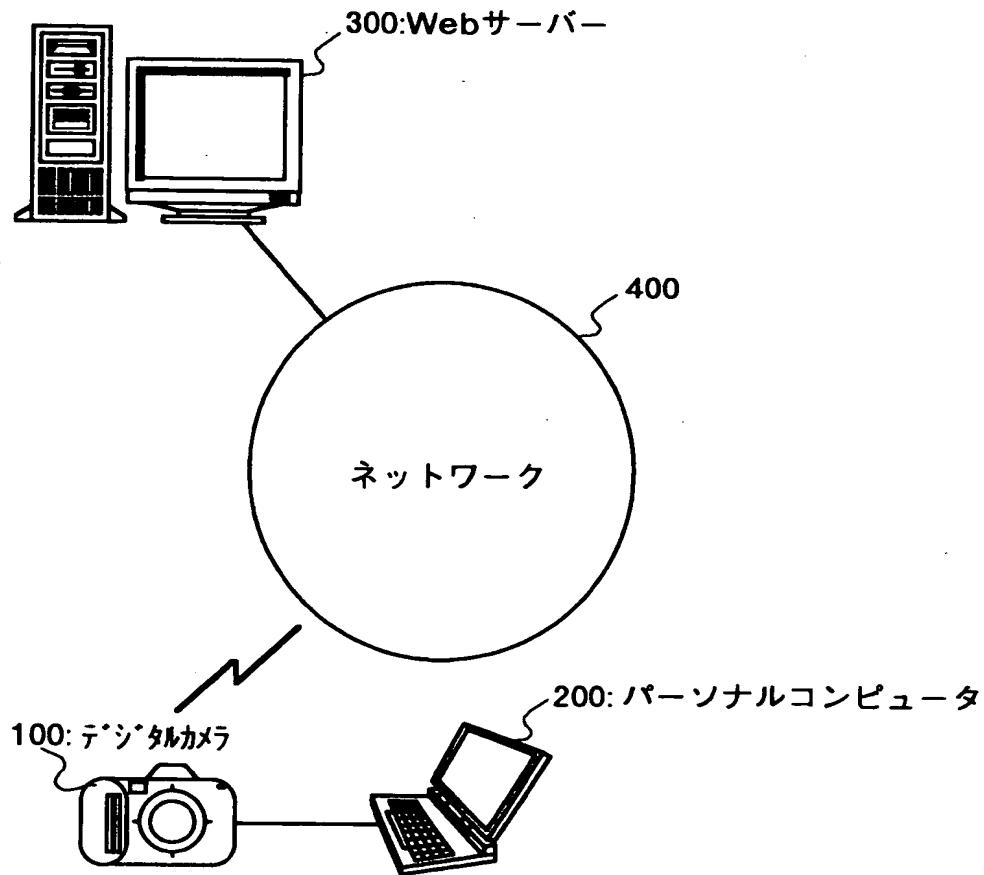
【符号の説明】

- 1 0 0 デジタルカメラ
- 1 0 1 システム制御部
- 1 0 2 カメラ部
- 1 0 3 画像データ記録・再生部
- 1 0 4 表示部
- 1 0 5 音声データ記録・再生部
- 1 0 6 操作部
- 1 0 7 タッチパネル操作部
- 1 0 8 記録部
- 1 0 9 PC / I F 部
- 1 1 0 カードスロット部
- 1 1 1 電源部
- 1 1 2 CPU
- 1 1 3 FLASH_ROM
- 1 1 4 SD-RAM
- 1 1 5 IPP
- 1 1 6 フレームメモリ
- 2 0 0 パーソナルコンピュータ
- 2 0 1 入力部
- 2 0 2 表示部
- 2 0 3 CPU

- 2 0 4 通信部
- 2 0 5 記録媒体ドライブ装置
- 2 0 6 記録媒体
- 2 0 7 R A M

【書類名】 図面

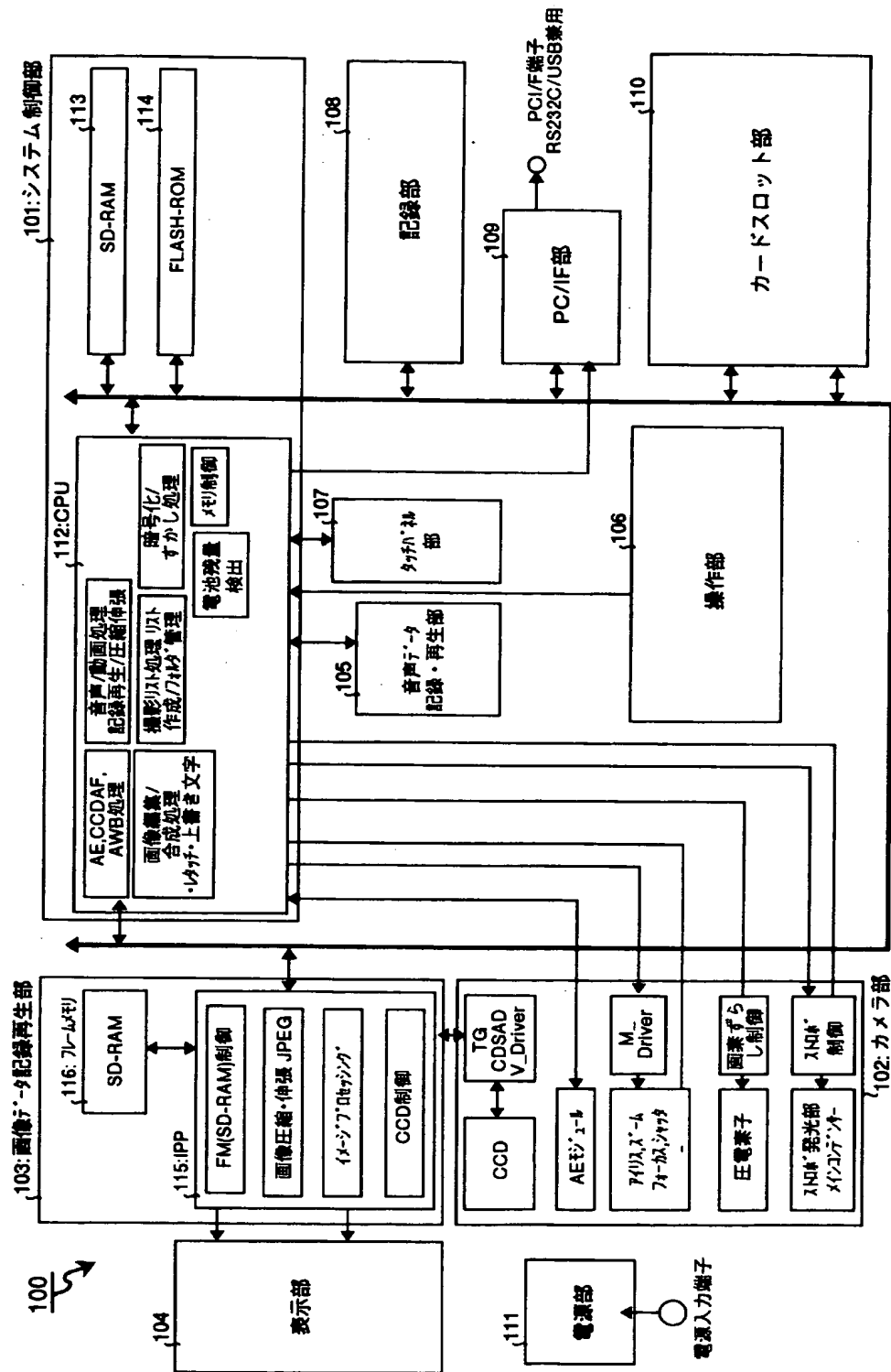
【図 1】



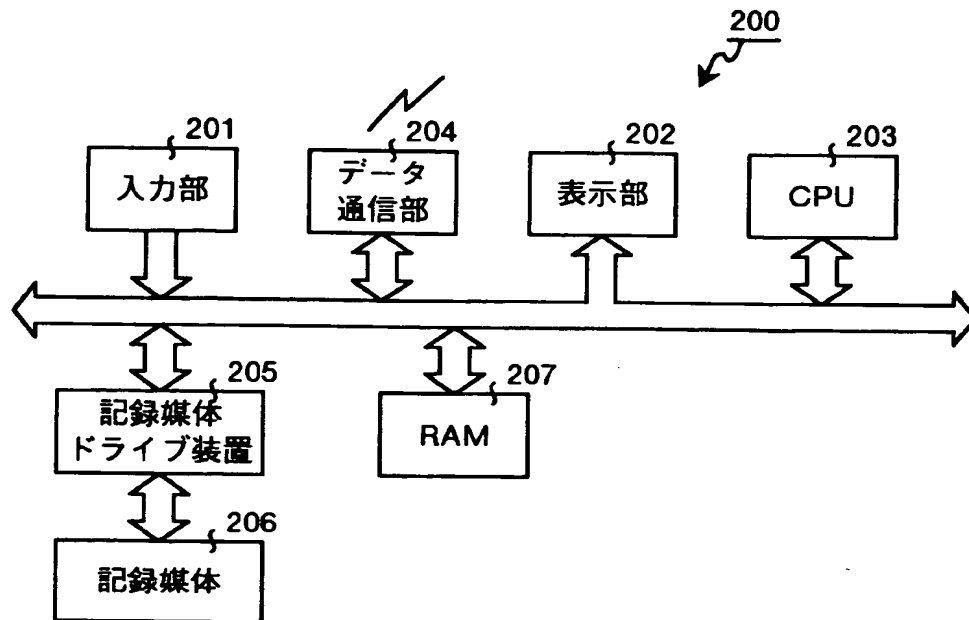
【図 2】

No.	商品名	撮影指示
1	バッグ	
2	バッグ	ブランドの「K」の文字がはっきり見えるように撮影
3	女性用ミニバッグ	軽くて、おしゃれな感じを出す
4	手提げバッグ	携帯電話を入れるポケットがあることがわかるように撮影
5	名刺入れ	2個ならべて、裏と表のデザインがわかるように
6	ペントレー	実際にペンをのせて撮影
7	札入	色違い3色をならべて撮影
8	ペンケース	大きさがわかるようにタバコを並べて撮影

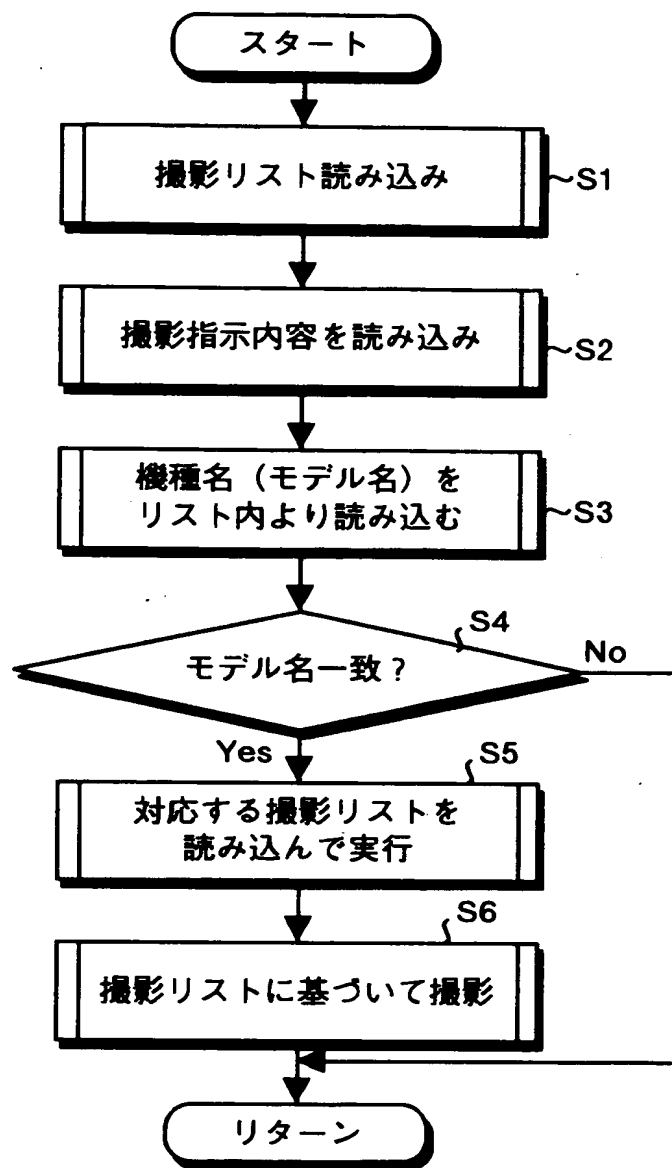
【図3】



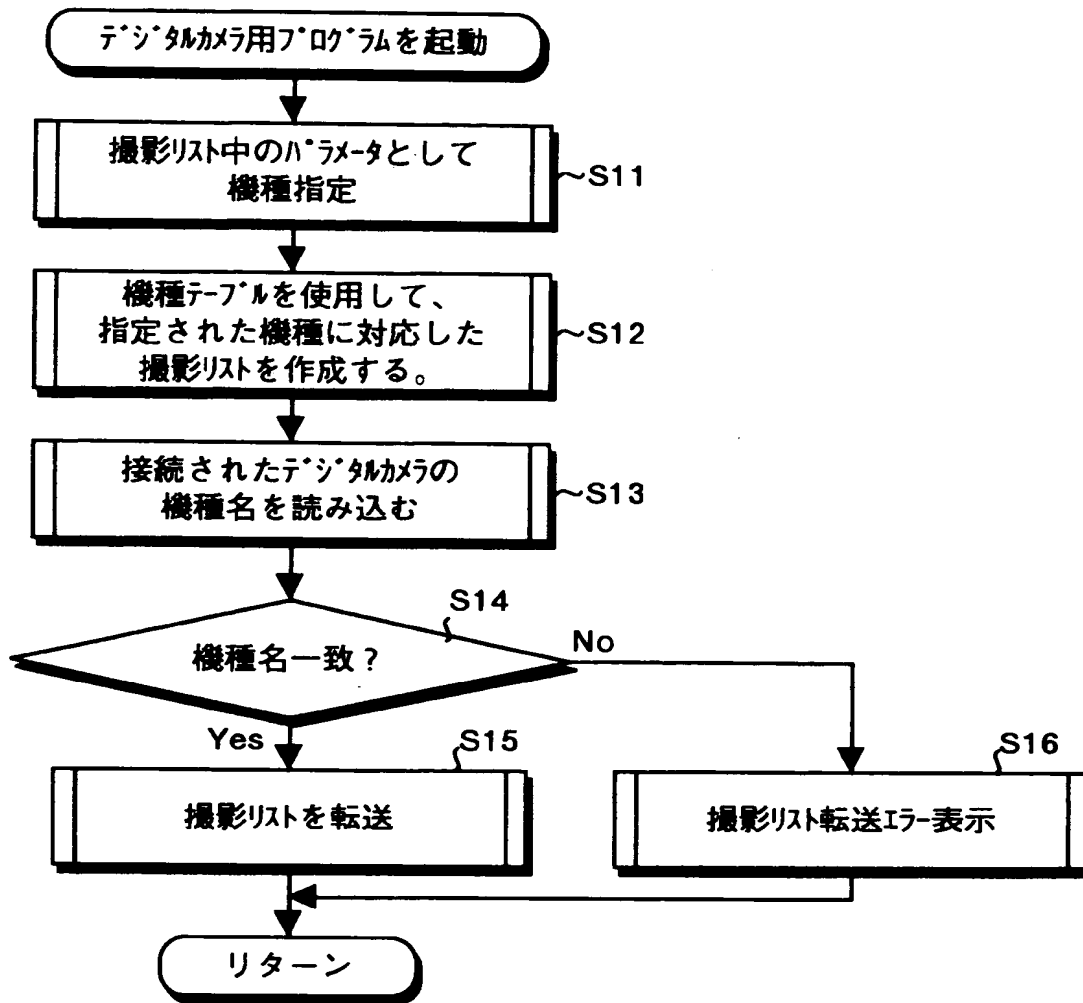
【図 4】



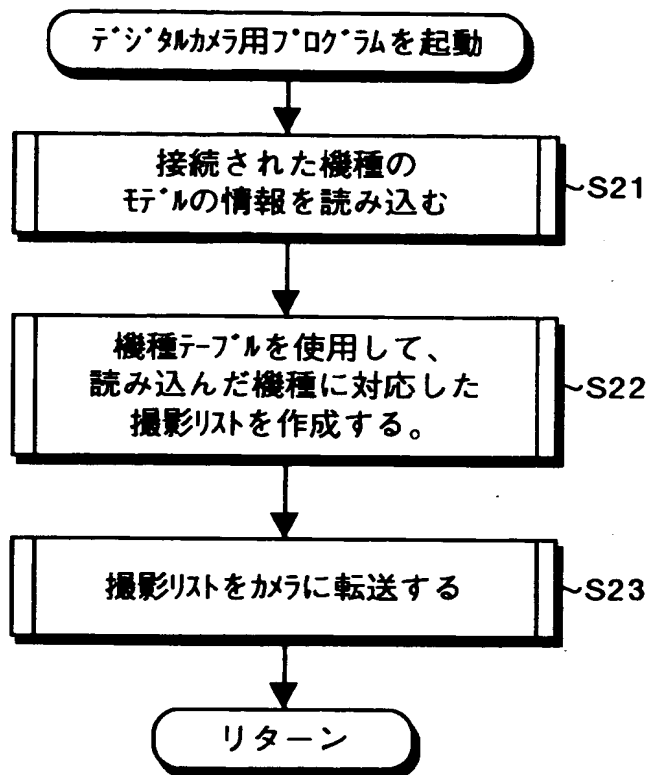
【図5】



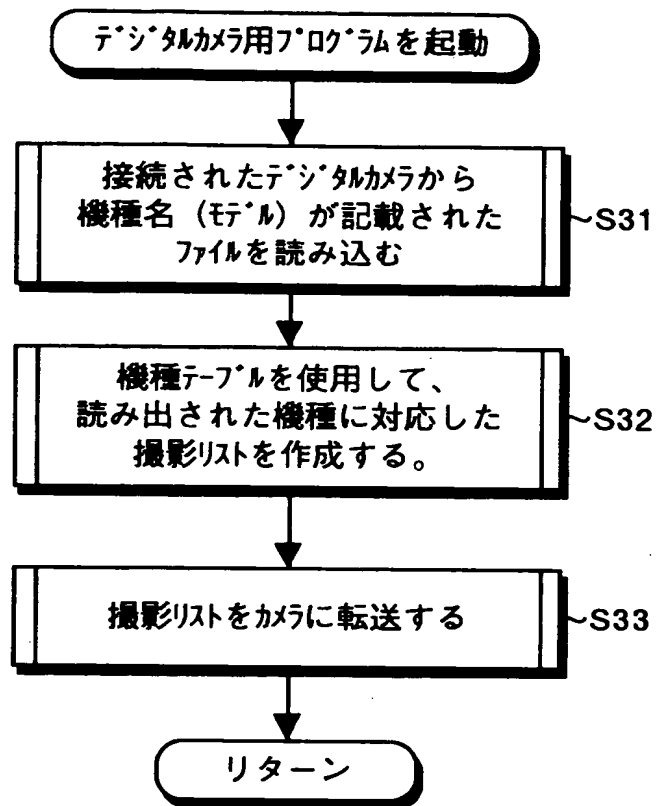
【図 6】



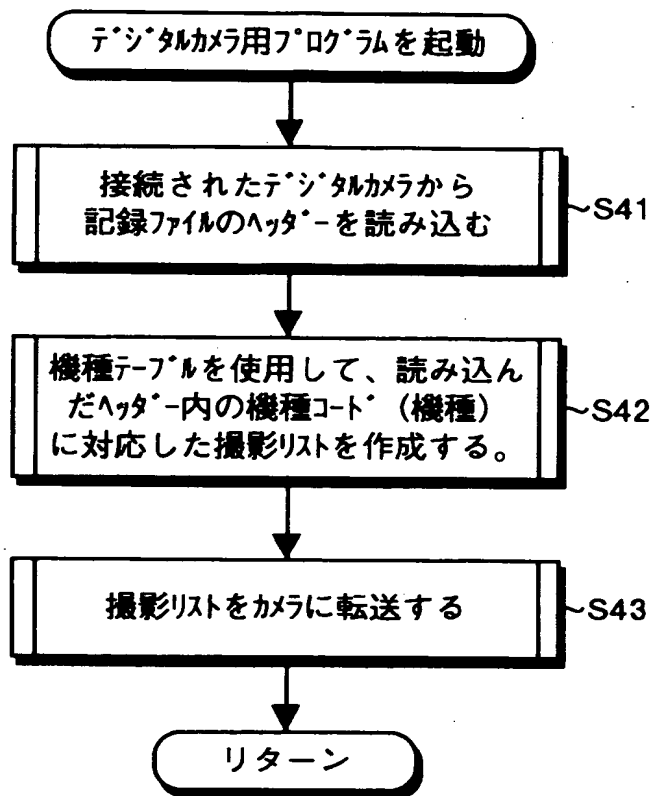
【図 7】



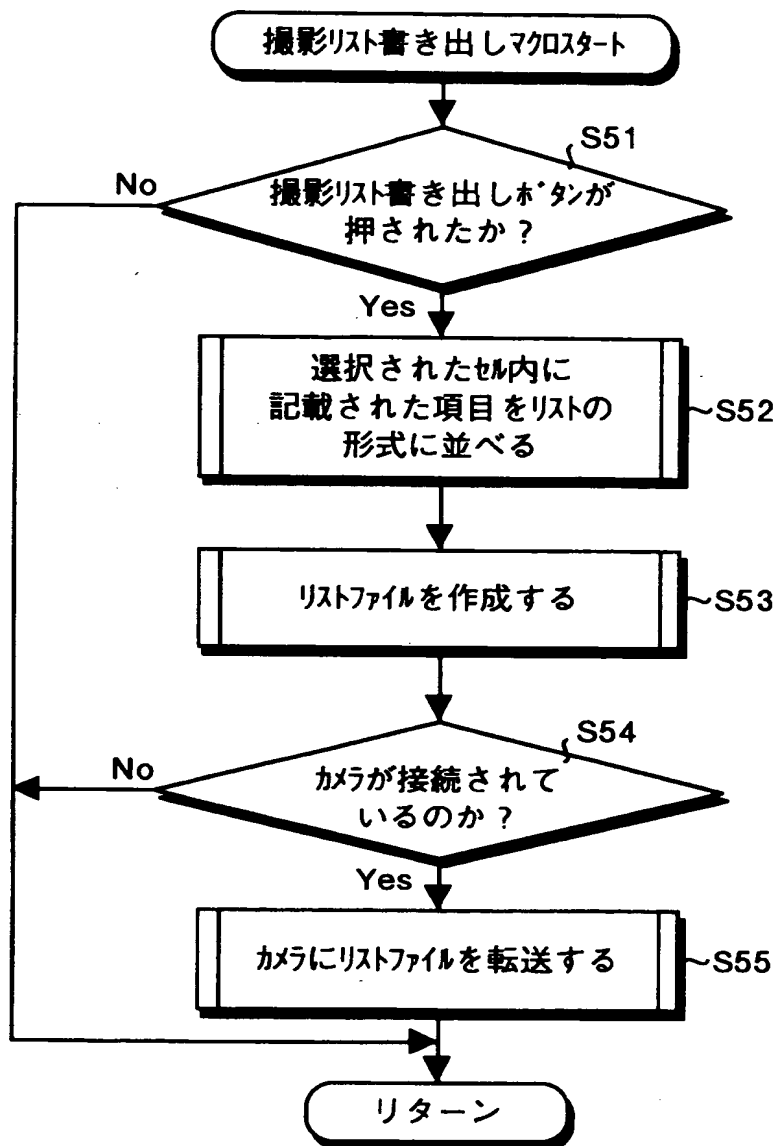
【図 8】



【図 9】



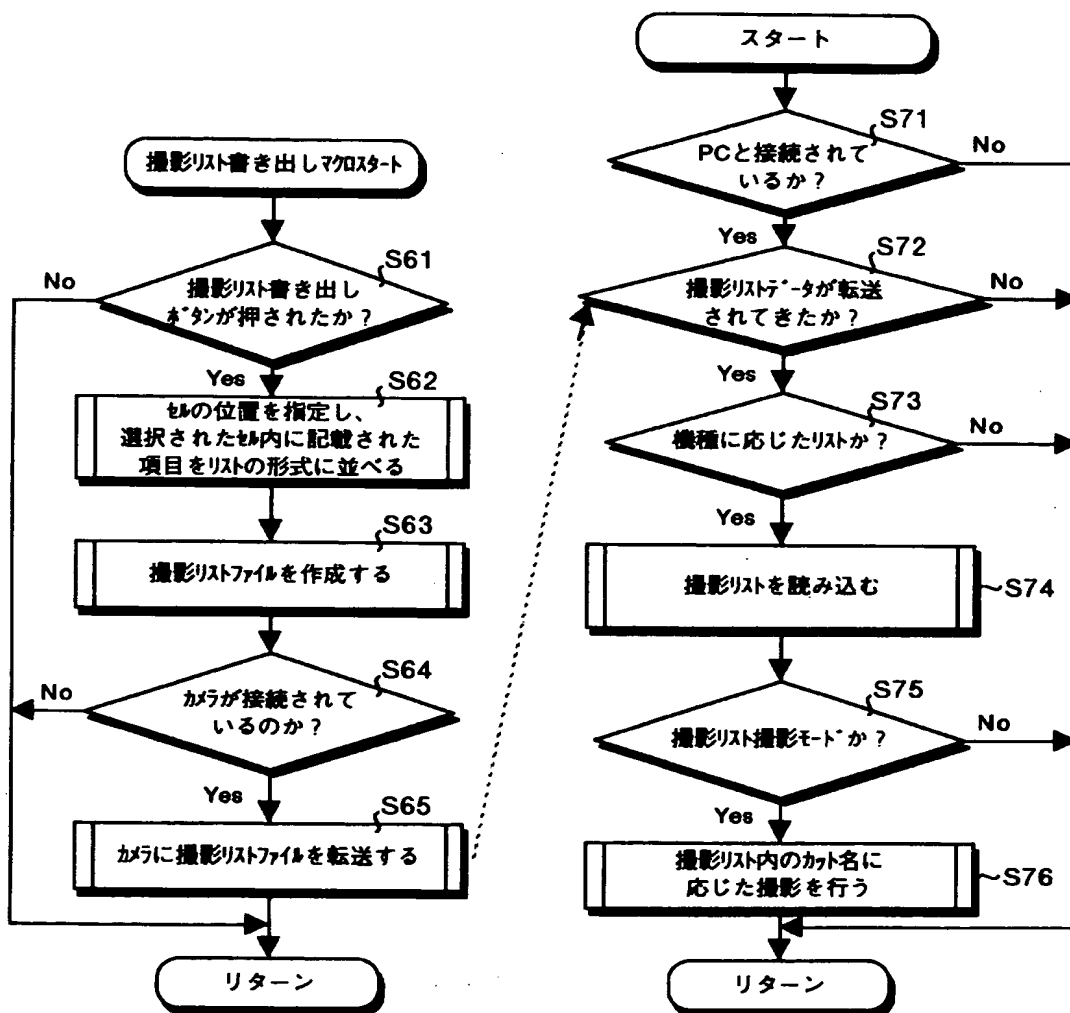
【図 1 0】



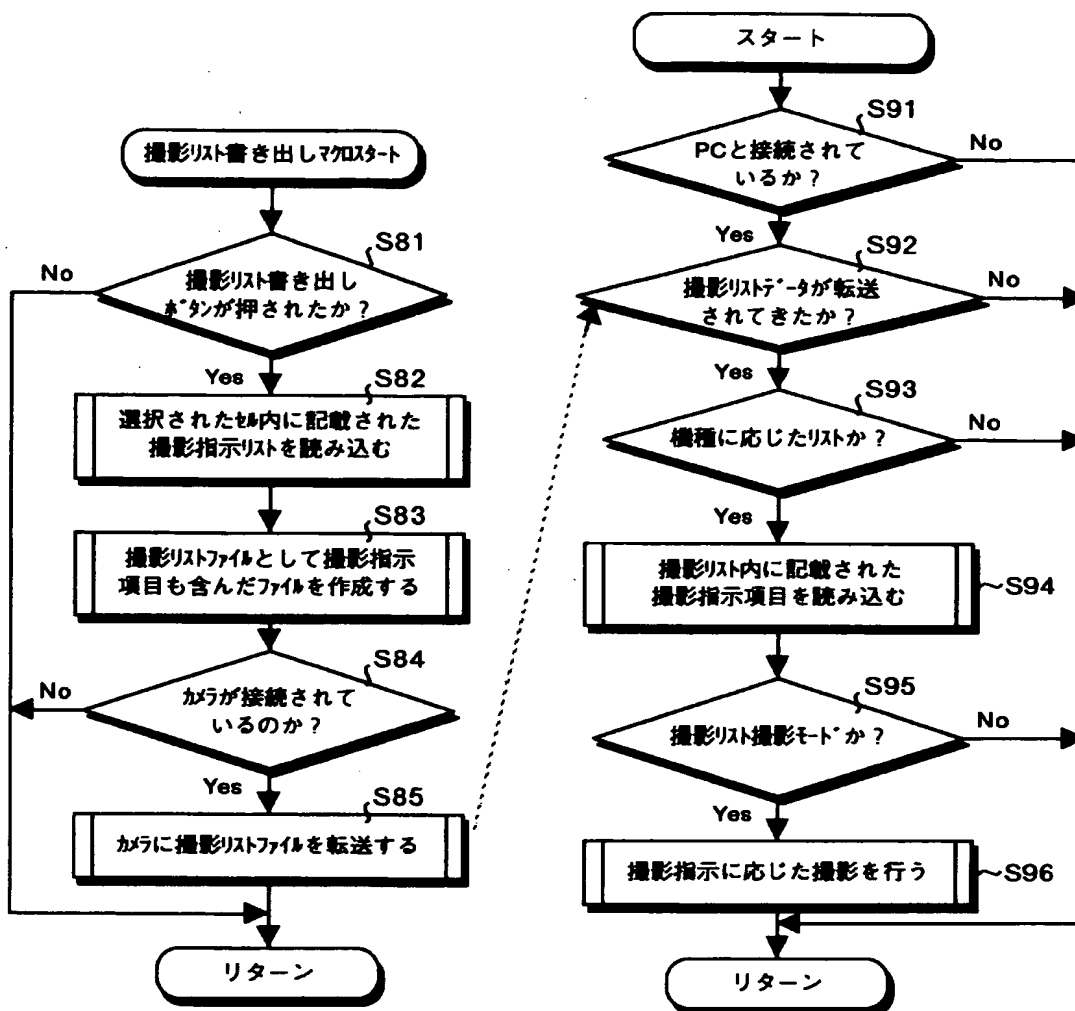
【図 1 1】

	A	B	C	D	E	
1						
2						
3		カット1				
4		カット2				
5		カット3				
6		カット4				
7		カット5				
8						

【図12】



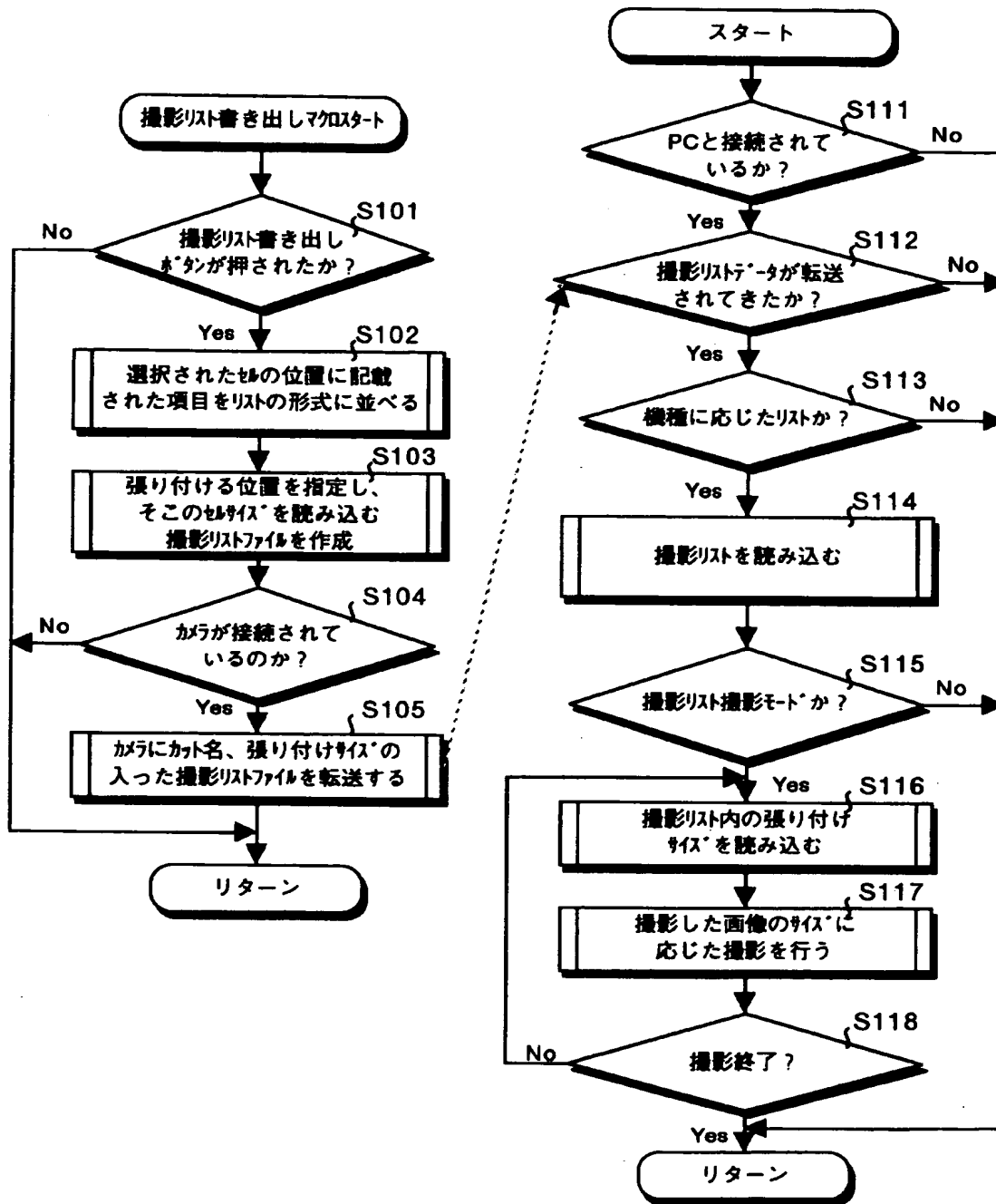
【図 13】



【図 14】

	A	B	C	D	E	
1						
2						
3		カット1	Aさんを撮影			
4		カット2	Bさんを撮影			
5		カット3	Cさんを撮影			
6		カット4	Dさんを撮影			
7		カット5	Eさんを撮影			
8						

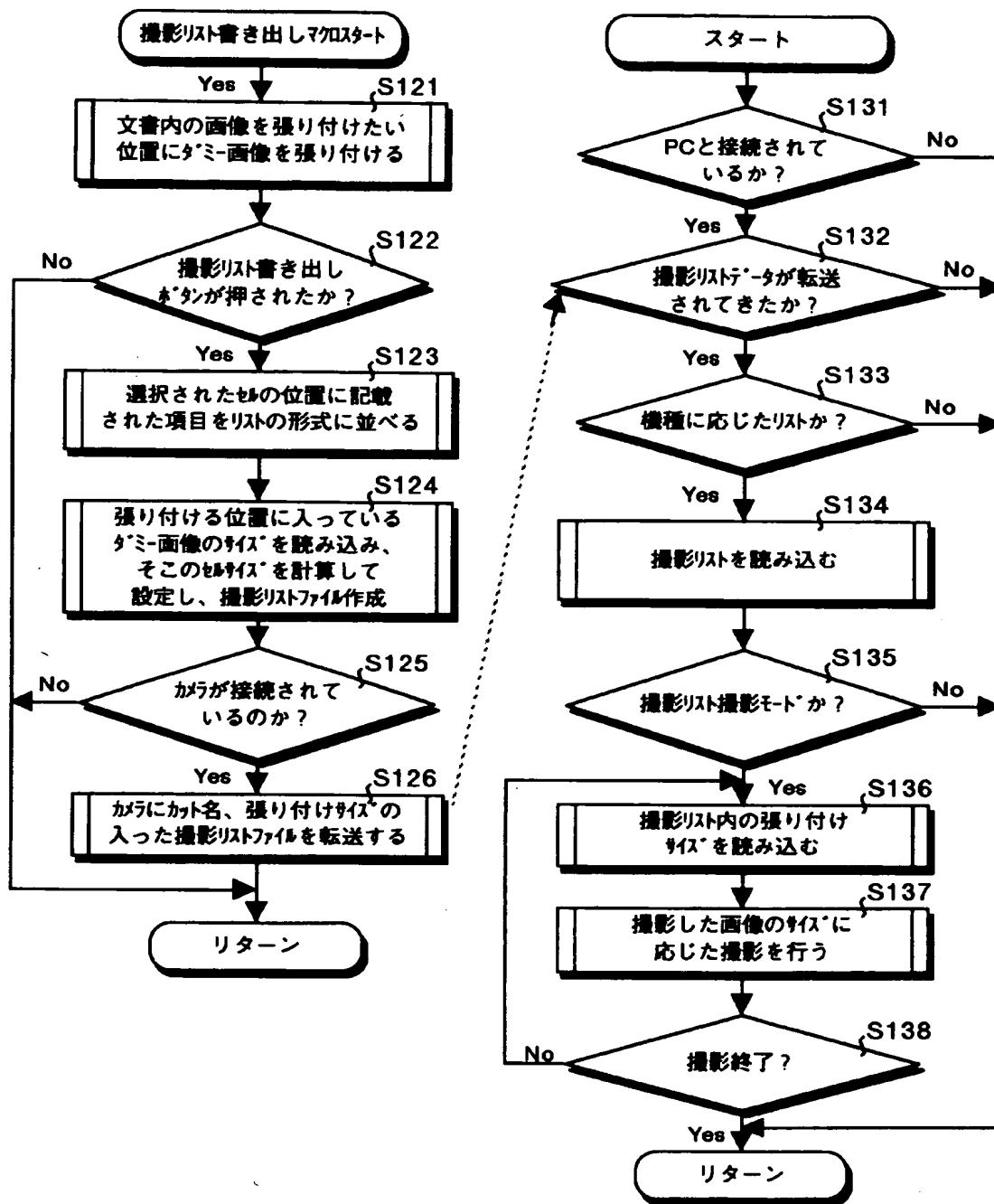
【図15】



【図 1 6】

	A	B	C	D	
1					
2					
3					
4		カット1			
5		カット2			
6		カット3			
7		カット4			

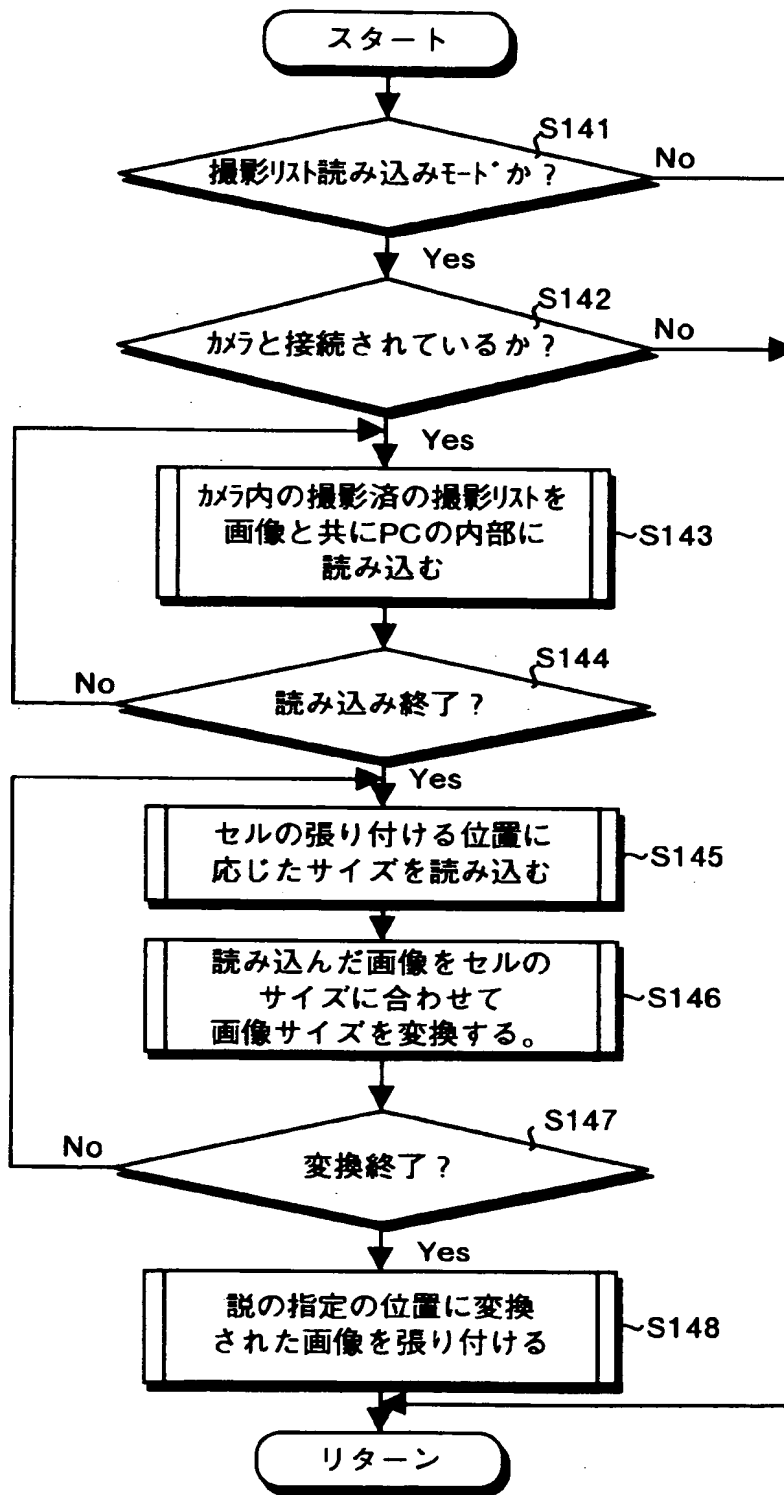
【図 17】



【図 1 8】

	A	B	C	D	
1					
2					
3					
4		カット1	ダミー画像1		
5		カット2	ダミー画像2		
6		カット3	ダミー画像3		
7		カット4	ダミー画像4		

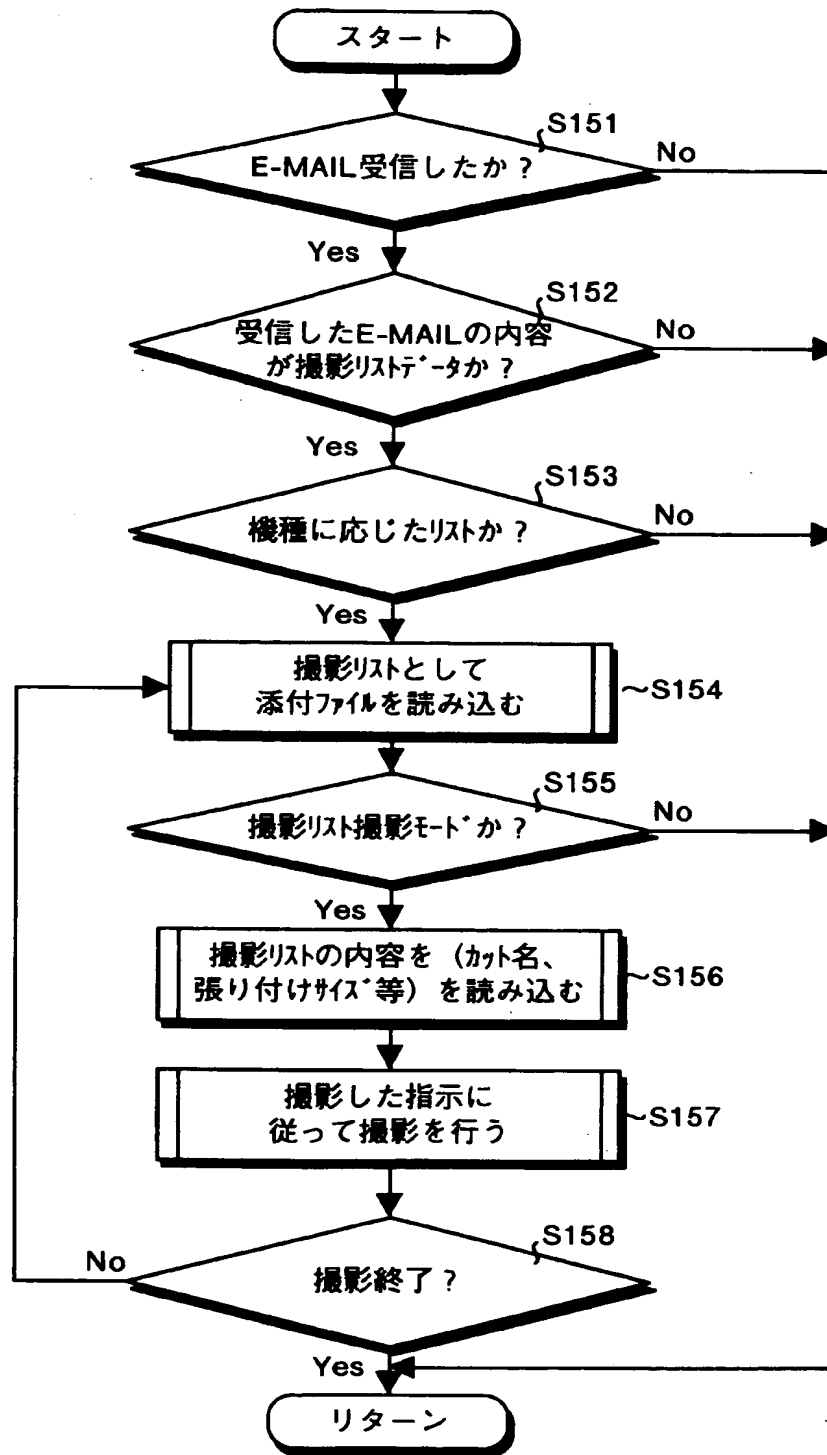
【図 1.9】



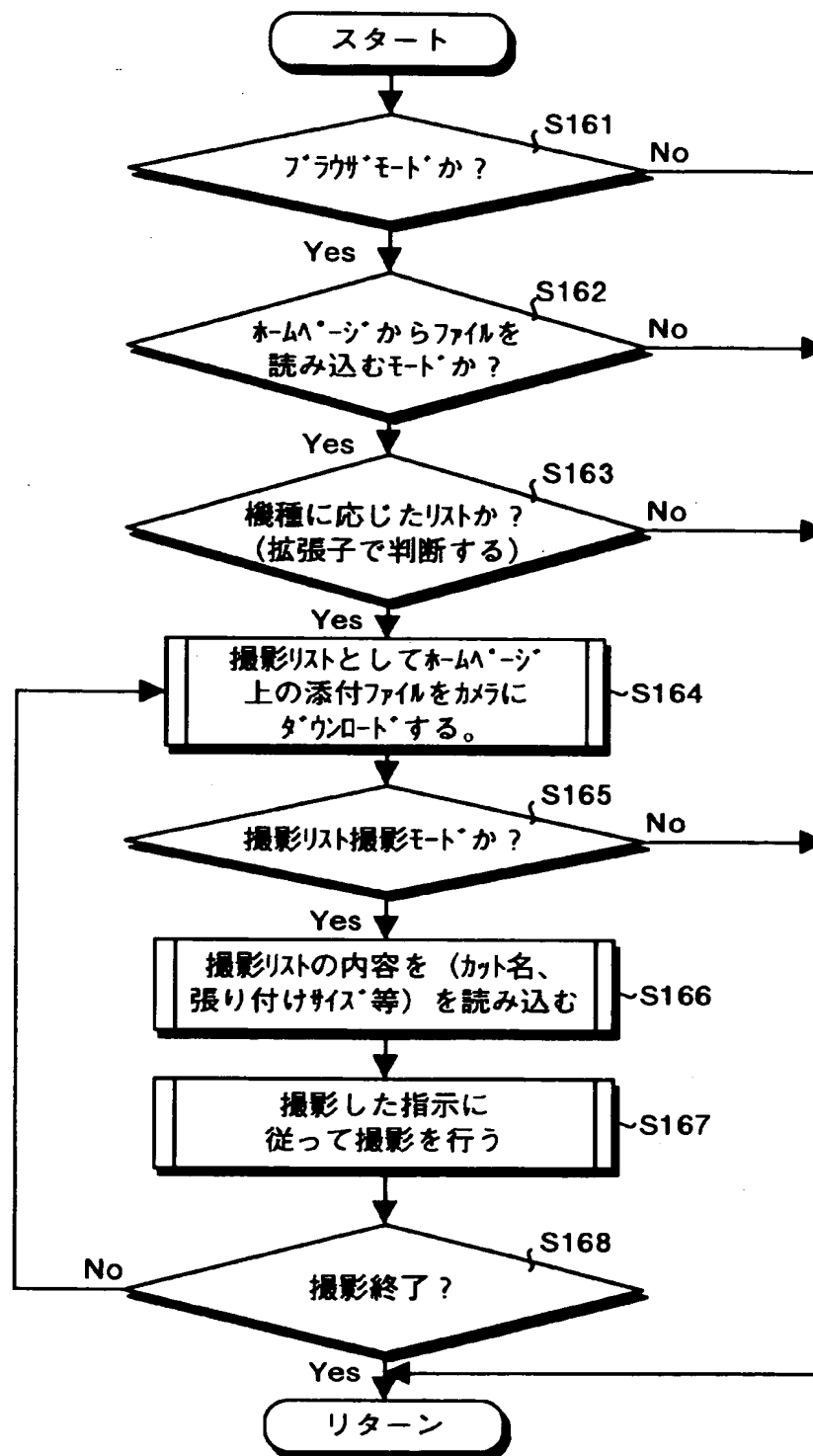
【図 2 0】

	A	B	C	D	
1					
2					
3					
4		カット1	画像1		
5		カット2	画像2		
6		カット3	画像3		
7		カット4	画像4		

【図 21】



【図 22】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 必要な被写体の取り忘れや作業漏れを防止可能な画像入力装置を提供すること。

【解決手段】 デジタルカメラ 1 0 0 では、パーソナルコンピュータから転送されてくる、機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを受信し、撮影リストの機種名情報を読み出して、自機の機種名と撮影リストの機種名とが一致するか否かを判断し、自機の機種名と撮影リストの機種名とが一致すると判断した場合に、当該撮影リストに基づいて撮影を行う。

【選択図】 図 3

【書類名】 手続補正書

【整理番号】 0003260

【提出日】 平成12年 8月 1日

【あて先】 特許庁長官 殿

【事件の表示】

【出願番号】 特願2000-109975

【補正をする者】

【識別番号】 000006747

【氏名又は名称】 株式会社リコー

【代理人】

【識別番号】 100089118

【弁理士】

【氏名又は名称】 酒井 宏明

【発送番号】 050579

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許願

【補正対象項目名】 先の出願に基づく優先権主張

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2000-136406

【出願日】 平成12年 3月31日

【プルーフの要否】 要

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006747]

1. 変更年月日 1990年 8月24日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都大田区中馬込1丁目3番6号
氏 名 株式会社リコー